ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041101) Communicative English ⅠL(1) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 森川　光与	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで480点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力:英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習)・期末試験：60%　（詳細は最初の授業で説明します）

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分－授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第２－15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示)：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (EnglishCentral)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。欠席回数が４回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻は授業開始から15分以内までとします。遅刻を3回すると欠席1回となります。それ以降は欠席の扱いとなります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041102) Communicative English ⅠL(2) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 大山　茂之	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English II（後期に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで480点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%

（小テスト・授業での発表等20%と期末試験40%に振り分けます。）

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業開始時に日時を決定します。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041103) Communicative English ⅠL(3) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 木戸口　英樹	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで480点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

期末試験・中間テスト：４５％　＋　授業への参加姿勢（出席数、予習を含む）：１５％

TOEIC-IPの結果：２０％（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：２０％（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分－授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1）e-learning（English Central）

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2）TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041104) Communicative English ⅠL(4) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 鳥越　秀知	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで480点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

授業での発表等：20%

期末試験：40%

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

<table>
<tr><td rowspan="3">ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2
授業科目名　　(時間割コード：041105)
Communicative English ⅠL(5)
Communicative English Ⅰ
Communicative English I</td><td>科目区分
コミュニケーション科目</td><td>時間割
前期金4</td><td>対象年次及び学科
1～全学共通科目</td></tr>
<tr><td>水準・分野
B2ENG</td><td>DP・提供部局
abxG</td><td>対象学生・特定プログラムとの対応
1N</td></tr>
<tr><td>授業形態
Ex</td><td>単位数
2</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">担当教員名
太田　眞理</td><td colspan="3">関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義</td></tr>
<tr><td colspan="3">履修推奨科目　　Communicative English II（後期に履修）</td></tr>
<tr><td colspan="4">学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業の概要
幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業の目的
この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。</td></tr>
<tr><td colspan="3">到達目標</td><td>学習・教育到達目標
(工学部JABEE基準)</td></tr>
<tr><td colspan="3">1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験するTOEICで480点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">成績評価の方法と基準
以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）30%・期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業計画並びに授業及び学習の方法
【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分－授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。</td></tr>
<tr><td colspan="4">教科書・参考書等
TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST
―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376</td></tr>
<tr><td colspan="4">オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。</td></tr>
<tr><td colspan="4">履修上の注意・担当教員からのメッセージ
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。</td></tr>
</table>

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041106) Communicative English ＩL(6) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 HILL STEPHEN MICHAEL RICHARD	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで480点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%

この60%をどのように振り分けるかは第１回目の授業で担当者が説明します

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041107) Communicative English ⅠL(7) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 篠原　範子	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English II（後期に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで480点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

出席・小テスト・授業態度など：60%（詳細は第1回授業時に説明）

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分－授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1）e-learning（English Central）

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2）TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041108) Communicative English ⅠL(8) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 小西　廣司	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English II（後期に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで480点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）：20%

期末試験：40%

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041110) Communicative English ⅠJE(1) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期水2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 小西　廣司	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English II（後期に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで480点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）：20%

期末試験：40%

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分－授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041111) Communicative English ⅠJE(2) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期水2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 太田　眞理	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで480点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）30%・期末試験：30%

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分－授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1）e-learning（English Central）

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2）TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041112) Communicative English ⅠJE(3) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期水2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 篠原　範子	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで480点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

出席・小テスト・授業態度など：60%（詳細は第1回授業時に説明）

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041113) Communicative English ⅠJE(4) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期水2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 木戸口　英樹	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで480点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

期末試験・中間テスト：４５％　＋　授業への参加姿勢（出席数、予習を含む）：１５％

TOEIC-IPの結果：２０％（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：２０％（獲得ポイントが６０％未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分－授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041114) Communicative English ⅠJE(5) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期水2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 森川　光与	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで480点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力:英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習)・期末試験：60%　（詳細は最初の授業で説明します）

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分－授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示)：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (EnglishCentral)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。欠席回数が４回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻は授業開始から15分以内までとします。遅刻を3回すると欠席1回となります。それ以降は欠席の扱いとなります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041115) Communicative English ⅠJE(6) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期水2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 瀬良　和彦	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで480点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

平常点（出席・発表・小テスト・提出物・授業への参加度など）30%

期末テスト30%（未受験の場合は単位を認定しない）

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041116) Communicative English ⅠJE(7) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期水2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 永尾　麻美	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English II（後期に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで480点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2‐15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1）e-learning（English Central）

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2）TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041117) Communicative English ⅠJE(8) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期水2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 竹中　千鶴	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで480点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）：30%
期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分－授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST
―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041118) Communicative English ⅠJE(9) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期水2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 HILL STEPHEN MICHAEL RICHARD	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで480点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%

この60%をどのように振り分けるかは第１回目の授業で担当者が説明します

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

<table>
<tr><td rowspan="3">ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2
授業科目名　　(時間割コード：041119)
Communicative English ⅠJE(10)
Communicative English Ⅰ
Communicative English I</td><td>科目区分
コミュニケーション科目</td><td>時間割
前期水2</td><td>対象年次及び学科
1～全学共通科目</td></tr>
<tr><td>水準・分野
B2ENG</td><td>DP・提供部局
abxG</td><td>対象学生・特定プログラムとの対応
1N</td></tr>
<tr><td>授業形態
Ex</td><td>単位数
2</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">担当教員名
中島　友愛</td><td colspan="3">関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義</td></tr>
<tr><td colspan="3">履修推奨科目　　Communicative English II（後期に履修）</td></tr>
</table>

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで480点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

期末テスト：40%
小テスト（毎回実施）：10%
授業への積極的な取り組み：10%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）　　e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST
―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041120) Communicative English ⅠJE(11) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期水2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 David Billa	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで480点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

In class participation and effort: 20%
Midterm Exam: 20%
Final Exam: 20%
(a score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class)
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分－授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST
―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041121) Communicative English ⅠJE(12) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 小西　廣司	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで480点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）：20%

期末試験：40%

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分－授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1）e-learning（English Central）

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2）TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041122) Communicative English ⅠJE(13) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 中島　友愛	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English II（後期に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで480点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

期末テスト：40%
小テスト（毎回実施）：10%
授業への積極的な取り組み：10%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）　　e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST
―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041123) Communicative English ⅠJE(14) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 瀬良　和彦	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで480点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

平常点（出席・発表・小テスト・提出物・授業への参加度など）30%

期末テスト30%（未受験の場合は単位を認定しない）

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分－授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1）e-learning（English Central）

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2）TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041124) Communicative English ⅠJE(15) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 松島　欣哉	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで480点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

小テスト：20%
中間試験：20%
期末試験：20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST
―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　木曜日５校時
質問の内容を事前に連絡して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から10分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041125) Communicative English ⅠJE(16) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 竹中　千鶴	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで480点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）：30%
期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分－授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST
―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041126) Communicative English ⅠJE(17) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 鳥越　洋子	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで480点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）30%・期末試験：30%

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）　　e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分－授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1）e-learning（English Central）

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2）TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041127) Communicative English ⅠJE(18) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 柏原　智美	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English II（後期に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで480点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

授業態度等：20%

小テスト：20%

期末試験：20%

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分－授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1）e-learning（English Central）

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2）TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041129) Communicative English ＩT(1) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期月2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 森川　光与	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで480点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力:英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習)・期末試験：60%　（詳細は最初の授業で説明します）

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分－授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示)：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (EnglishCentral)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。欠席回数が４回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻は授業開始から15分以内までとします。遅刻を3回すると欠席1回となります。それ以降は欠席の扱いとなります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041130) Communicative English ＩT(2) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期月2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English II（後期に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで420点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

e-learningのサポート等

TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2‐15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1）e-learning（English Central）

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2）TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041131) Communicative English ＩT(3) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期月2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 柏原　智美	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English II（後期に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで420点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

授業態度等：20%

小テスト：20%

期末試験：20%

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分－授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1）e-learning（English Central）

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2）TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041132) Communicative English ＩT(4) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期月2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 田口　明美	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English II（後期に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで420点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業への参加度:20%

期末試験:40%

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041133) Communicative English ＩT(5) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期月2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 長井　克己	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English II（後期に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（e-learningを含む）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで420点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

小テスト・授業での発表等（予習・復習）・試験：60%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合，単位を認定しない
e-learning：20%（「%完了」が全体の60%未満の場合，単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10分：e-learningのサポート等
10分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
4/15: introduction to the course
4/22: unit 1
5/*6: unit 2
5/13: unit 3
5/20: unit 4
5/27: unit 5
6/ 3: unit 6
6/10: exam 1
6/17: unit 7
6/24: unit 8
7/ 1: unit 9
7/ 8: tutorial
7/*13: TOEIC
7/*15: unit 10
7/22: unit 11
7/29: unit 12
8/5: exam 2

【自学自習に関するアドバイス】
必ず教科書の音声ファイルをダウンロードし，繰り返し聞くこと。
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用い，e-learning (English Central)を行います。ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等を学習します。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部となります。

教科書・参考書等

AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST. 成美堂.
（教科書代金にEnglishCentral利用料が含まれています）

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

<table>
<tr><td rowspan="3">ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2
授業科目名　　(時間割コード：041134)
Communicative English ＩT(6)
Communicative English Ⅰ
Communicative English I</td><td>科目区分
コミュニケーション科目</td><td>時間割
前期月2</td><td>対象年次及び学科
1～全学共通科目</td></tr>
<tr><td>水準・分野
B2ENG</td><td>DP・提供部局
abxG</td><td>対象学生・特定プログラムとの対応
1N</td></tr>
<tr><td>授業形態
Ex</td><td>単位数
2</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">担当教員名
太田　眞理</td><td colspan="3">関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義</td></tr>
<tr><td colspan="3">履修推奨科目　　Communicative English II（後期に履修）</td></tr>
<tr><td colspan="4">学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業の概要
幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業の目的
この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。</td></tr>
<tr><td colspan="3">到達目標</td><td>学習・教育到達目標
(工学部JABEE基準)</td></tr>
<tr><td colspan="3">1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験するTOEICで420点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">成績評価の方法と基準
以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）30%・期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業計画並びに授業及び学習の方法
【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分－授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。</td></tr>
<tr><td colspan="4">教科書・参考書等
TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST
―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376</td></tr>
<tr><td colspan="4">オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。</td></tr>
<tr><td colspan="4">履修上の注意・担当教員からのメッセージ
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。</td></tr>
</table>

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041135) Communicative English ＩT(7) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期月2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 川端　美都子	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English II（後期に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで420点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%

（小テスト15%：授業貢献点15%：期末試験：30%）

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業内で提示します。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　経済学部3号館3階　川端研究室

月曜：14時30分～

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041136) Communicative English ＩT(8) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期月2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 松島　欣哉	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで420点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

小テスト：20%
中間試験：20%
期末試験：20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST
― 頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　月曜日５校時
質問の内容を事前にメールで連絡して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から10分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041137) Communicative English ＩT(9) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期月2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 中島　友愛	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English II（後期に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで420点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

期末テスト：40%
小テスト（毎回実施）：10%
授業への積極的な取り組み：10%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）　　e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST
―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041138) Communicative English ＩT(10) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期月2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 木戸口　英樹	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English II（後期に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで420点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

期末試験・中間テスト：４５％　＋　授業への参加姿勢（出席数、予習を含む）：１５％

TOEIC-IPの結果：２０％（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：２０％（獲得ポイントが６０%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分－授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1）e-learning（English Central）

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2）TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041139) Communicative English ＩT(11) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期月2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 David Billa	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで420点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

In class participation and effort: 20%
Midterm Exam: 20%
Final Exam: 20%
(a score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class)
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分－授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST
―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041140) Communicative English ⅠA(1) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期木3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 鳥越　洋子	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English II（後期に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで420点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）30%・期末試験：30%

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）　　e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分－授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1）e-learning（English Central）

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2）TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041141) Communicative English ⅠA(2) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期木3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 中島　友愛	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English II（後期に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで420点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

期末テスト：40%
小テスト（毎回実施）：10%
授業への積極的な取り組み：10%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST
―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041142) Communicative English ⅠA(3) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期木3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 柏原　智美	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English II（後期に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで420点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

授業態度等：20%

小テスト：20%

期末試験：20%

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分－授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041143) Communicative English ⅠA(4) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期木3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 竹中　千鶴	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで420点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）：30%
期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分－授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST
―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041144) Communicative English ⅠA(5) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期木3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 瀬良　和彦	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで420点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

平常点（出席・発表・小テスト・提出物・授業への参加度など）30%

期末テスト30%（未受験の場合は単位を認定しない）

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041145) Communicative English ⅠA(6) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期木3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 小西　廣司	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで420点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）：20%

期末試験：40%

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分－授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041146) Communicative English ⅠA(7) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期木3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 篠原　範子	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで420点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

出席・小テスト・授業態度など：60%（詳細は第1回授業時に説明）

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041148) Communicative English ⅠM(1) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期木3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 David Billa	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで550点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

In class participation and effort: 20%

Midterm Exam: 20%

Final Exam: 20%

(a score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class)

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分－授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041149) Communicative English ⅠM(2) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期木3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 ｳｨﾘｰ･ｲｱﾝ･ﾃﾞﾋﾞｯﾄﾞ	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで550点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

宿題・授業への参加度: 20%
中間テスト及び期末テスト: 40%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST
―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041150) Communicative English ⅠM(3) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期木3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 木戸口　英樹	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで550点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

期末試験・中間テスト：４５％　＋　授業への参加姿勢（出席数、予習を含む）：１５％

TOEIC-IPの結果：２０％（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：２０％（獲得ポイントが６０%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分－授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041151) Communicative English ⅠM(4) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期木3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 HILL STEPHEN MICHAEL RICHARD	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで550点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%

この60%をどのように振り分けるかは第１回目の授業で担当者が説明します

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041152) Communicative English ⅠNP(1) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 木戸口　英樹	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English II（後期に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで420点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

期末試験・中間テスト：４５％　＋　授業への参加姿勢（出席数、予習を含む）：１５％

TOEIC-IPの結果：２０％（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：２０％（獲得ポイントが６０%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分－授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041153) Communicative English ⅠNP(2) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 HILL STEPHEN MICHAEL RICHARD	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで420点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%

この60%をどのように振り分けるかは第１回目の授業で担当者が説明します

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分－授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041154) Communicative English ⅠNP(3) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 David Billa	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで420点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

In class participation and effort: 20%
Midterm Exam: 20%
Final Exam: 20%

(a score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class)

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST
―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041155) Communicative English ＩT(12) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期月2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 篠原　範子	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで420点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

出席・小テスト・授業態度など：60%（詳細は第1回授業時に説明）

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041156) Communicative English ＩT(13) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期月2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 永尾　智	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English II（後期に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで420点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）：30%

期末試験：30%

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

この授業では、座席は指定制です。

TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）を行います。

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：テキストを使用しての演習活動

第16回：定期試験

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041157) Communicative English ⅠNP(4) Communicative English Ⅰ Communicative English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 篠原　範子	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験するTOEICで420点以上のスコアを取ることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

出席・小テスト・授業態度など：60%（詳細は第1回授業時に説明）

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分－授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1）e-learning（English Central）

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2）TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST

―　頻出表現と頻出単語で攻略するTOEIC L&R TEST　SEIBIDO 萩　寛美　共著　￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041201) Communicative English ⅡL(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 HILL STEPHEN MICHAEL RICHARD	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習)・期末試験：50%
この50%をどのように振り分けるかは第１回目の授業で担当者が説明します
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない)
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない)

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
授業開始‐10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分‐授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動)
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2‐15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示)：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Teruhiko Kadoyama, et al. (2019). NEW CONNECTION 3. SEIBIDO ¥2,200 ISBN: 978-4-7919-7181-7

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041202) Communicative English ⅡL(2) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 ﾏｸﾗﾊﾝ･ｼﾞｪﾗﾃﾞｨｰﾝ	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

中間テスト:　20%
期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回: Japan/Society - Japan: Unusual rental universe
第3回: Wellness/Trend - Is Coffee the Secret to a Long Life?
第4回: Language - Lost in Translation
第5回: Lifestyle/Health - Lack of Sleep Costs Americans Billions of Dollars
第6回: Business/Social media - Your Smartphone Is Making you a Workplace Slacker
第7回: Lifestyle/Health - Do Happy People Live Longer
第8回: 中間テスト
第9回: Business/Activism　- Selling Charity
第10回: Environment - How Microfibers in Clothes are Polluting Our Oceans
第11回: Holiday/Family - True Meaning of Christmas Found in Family's Magical Reunion
第12回: Lifestyle/Trend - The Joy of Cleaning
第13回: Social media/Society -　High Schooler's "Sit With Us"
第14回: Society/Tech - Japan Battles Population Decline with Robots
第15回: Business/Trend: - Please Come In
第16回: 期末試験

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等 CBS News Break 4 by Nobuhiro Kumai & Stephen Timson. Seibido (2019) ISBN: 978-4-7919-7186-2 ¥2400
オフィスアワー　　オフィスアワー　水曜日１２：００時から１３：００時
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041203) Communicative English ⅡL(3) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 太田　眞理	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）25%・期末試験：25%

TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Nobuhiro Kumai, Stephen Timson (2019). CBS News Break 4. SEIBIDO ¥2,400 ISBN: 978-4-7919-7186-2

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041204) Communicative English ⅡL(4) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 小西　廣司	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）：20%
期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分－授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Teruhiko Kadoyama, et al. (2019). NEW CONNECTION 2. SEIBIDO ￥2,376

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041205) Communicative English ⅡL(5) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 森川　光与	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力:英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：50%（詳細は最初のクラスで説明します。）

TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。

授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分－授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第１回：オリエンテーション

第２－15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (EnglishCentral)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Akiko Tsuda et. al (2019) Discovering Cool Japan. Seibido, ￥2,500

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。欠席回数が４回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻は授業開始から15分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041206) Communicative English ⅡL(6) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 木戸口　英樹	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

期末試験・中間テスト：４０％　＋　授業への参加姿勢（出席数、予習を含む)：１０％

TOEIC-IPの結果：３０％（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：２０％（獲得ポイントが６０%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示)：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

CBS NewsBreak 4,　Kumai Nobuhiro, Stephen Timson, Seibidou,　2019. ￥2,592 (Tax included), ISBN. 97847921971862

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041207) Communicative English ⅡL(7) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 大山　茂之	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：50%

（小テスト・授業での発表等20%、期末試験30%に振り分けます。）

TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) テキスト

授業ではテキストを使用します。アメリカのニュース専門放送局CNNのショートニュースを題材に語彙力・聴解力・表現力 などの充実は図ります。初回授業時に授業の進め方や予習の仕方などを説明します。

教科書・参考書等

CNN Short News, Vol. 1（『 CNNショートニュースで学ぶ総合英語』), 安浪誠祐 ・Richard S. Lavin共著, 朝日出版社（2019年), 1,296円(本体1,200円+税) ISBN: 978-4-255-15643-9

オフィスアワー　　授業時に相談の上、決定します。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041208) Communicative English ⅡL(8) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 鳥越　秀知	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

授業での発表等：20%

期末試験：30%

TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Seisuke Yasunami, Richard S. Lavin (2019) CNN Short News Vol.1. Asahi Press ¥1,200 ISBN:978-4-255-15643-9

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041210) Communicative English ⅡJE(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期水2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 David Billa	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

In class participation and effort : 20%
Midterm Exam: 15%
Final Exam: 15%
(a score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class)

TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

CBS NewsBreak 4. Kumai, Nobuhiro & Timson, Stephen. Seibido. 2019. 978-4-7919-7186-2

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041211) Communicative English ⅡJE(2) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期水2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 HILL STEPHEN MICHAEL RICHARD	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習)・期末試験：50%
この50%をどのように振り分けるかは第１回目の授業で担当者が説明します
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない)
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない)

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
授業開始‐10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分‐授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動)
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2‐15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示)：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Teruhiko Kadoyama, et al. (2019). NEW CONNECTION 3. SEIBIDO ¥2,200 ISBN: 978-4-7919-7181-7

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041212) Communicative English ⅡJE(3) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期水2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 太田　眞理	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）25%・期末試験：25%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分－授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Nobuhiro Kumai, Stephen Timson (2019). CBS News Break 4. SEIBIDO ¥2,400 ISBN: 978-4-7919-7186-2

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041213) Communicative English ⅡJE(4) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期水2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 永尾　麻美	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習)・期末試験：50%

TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。

テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示)：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

津田晶子・金志佳代子・Christopher Valvona著『Discovering Cool Japan』2019年　成美堂　2,500円（税別）

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041214) Communicative English ⅡJE(5) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期水2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 木戸口　英樹	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習)・期末試験：50%

（この50%をどのように振り分けるかは授業担当者が決定してください。）

TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示)：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

教科書・参考書等

CBS NewsBreak 4,　Kumai Nobuhiro, Stephen Timson, Seibidou,　2019. ￥2,592 (Tax included), ISBN. 97847921971862

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041215) Communicative English ⅡJE(6) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期水2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 森川　光与	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力:英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：50%（詳細は最初のクラスで説明します。）

TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。

授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分－授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第１回：オリエンテーション

第２－15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1）e-learning（EnglishCentral）

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2）テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Akiko Tsuda et. al (2019) Discovering Cool Japan. Seibido, ￥2,500

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。欠席回数が４回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻は授業開始から15分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041216) Communicative English ⅡJE(7) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期水2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 中島　友愛	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

期末テスト：30%
小テスト（毎回実施）：10%
授業への積極的な取り組み：10%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Nobuhiro Kumai, Stephen Timson (2019). CBS NewsBreak 4. Seibido.　¥2,400+税

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041217) Communicative English ⅡJE(8) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期水2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 瀬良　和彦	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
平常点（出席・発表・小テスト・提出物・授業への参加度など）25%
期末テスト25%（未受験の場合は単位を認定しない）
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Kumai,N. & Timson, S. (2019). CBS NewsBreak 4. Seibido. ¥2,400+税. ISBN978-4-7919-7186-2

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041218) Communicative English ⅡJE(9) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期水2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 篠原　範子	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

出席・小テスト・授業態度など：50%（詳細は第1回授業時に説明）

TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Catherine Frazier et al. TIME ZONES 2A (Second ed.), National Geographic/Cengage Learning. ISBN: 978-1-305-51075-3

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041219) Communicative English ⅡJE(10) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期水2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 竹中　千鶴	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）25%

期末試験：25%

TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Katsunori Fujioka, et.al. (2019). Speak Easy From Basic Conversation to Simplified Debate.　KINSEIDO ￥1,800

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041220) Communicative English ⅡJE(11) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期水2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 長井　克己	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業は4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習)・期末試験：50%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10分：e-learningのサポート等
10分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回（日程は別途指示)：テキストを使用しての演習活動
授業外（詳細は１１月頃連絡)：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) テキスト
授業ではテキストを使用します。指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。

教科書・参考書等

David Bohlke, Jenifer Wilkin. TIME ZONES 3A (Second Ed.). NATIONAL GIOGRAPHIC / CENGAGE Learning　ISBN: 978-1-305-51073-9

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041221) Communicative English ⅡJE(12) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 柏原　智美	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

授業態度等：20%

期末試験：30%

TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。

授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分－授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Teruhiko Kadoyama, et al. (2019). NEW CONNECTION 3.　SEIBIDO　2,200円　ISBN:978-4-7919-7181-7

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041222) Communicative English ⅡJE(13) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 HILL STEPHEN MICHAEL RICHARD	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習)・期末試験：50%
この50%をどのように振り分けるかは第１回目の授業で担当者が説明します
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない)
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない)

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
授業開始‐10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分‐授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動)
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2‐15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示)：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Teruhiko Kadoyama, et al. (2019). NEW CONNECTION 3. SEIBIDO ¥2,200 ISBN: 978-4-7919-7181-7

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041223) Communicative English ⅡJE(14) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 鳥越　洋子	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）20%・期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分－授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

CNN Short News Vol.1. Seisuke Yasunami, Richard S. Lavin (2019) Asahi Press ¥1,200　ISBN: 978-4-255-15643-9

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041224) Communicative English ⅡJE(15) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 松島　欣哉	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト：10%
中間試験：20%
期末試験：20%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分－授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Nobuhiro Kumai, Stephen Timson (2019). CBS News Break 4. (SEIBIDO), ¥2,400

オフィスアワー　　木曜日５校時
質問の内容を事前に連絡して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041225) Communicative English ⅡJE(16) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 篠原　範子	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

出席・小テスト・授業態度など：50%（詳細は第1回授業時に説明）

TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Catherine Frazier et al. TIME ZONES 2A (Second ed.), National Geographic/Cengage Learning. ISBN: 978-1-305-51075-3

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041226) Communicative English ⅡJE(17) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 竹中　千鶴	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）:25%

期末試験：25%

TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Katsunori Fujioka, et.al. (2019). Speak Easy From Basic Conversation to Simplified Debate. KINSEIDO.
￥1,800

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041227) Communicative English ⅡJE(18) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 水野　康一	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：50%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分－授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Seisuke Yasunami, Richard S. Lavin (2019). CNN Short News Vol.1. Asahi Press 1,200円＋税
ISBN:978-4-255-15643-9

オフィスアワー　　月曜　４校時

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041229) Communicative English ⅡT(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期月2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 David Billa	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

In class participation and effort : 20%
Midterm Exam: 15%
Final Exam: 15%
(a score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class)

TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

CBS NewsBreak 4. Kumai, Nobuhiro & Timson, Stephen. Seibido. 2019. 978-4-7919-7186-2

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041230) Communicative English ⅡT(2) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期月2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 太田　眞理	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）25%・期末試験：25%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分－授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Nobuhiro Kumai, Stephen Timson (2019). CBS News Break 4. SEIBIDO ¥2,400 ISBN: 978-4-7919-7186-2

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041231) Communicative English ⅡT(3) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期月2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 森川　光与	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力:英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：50%（詳細は最初のクラスで説明します。）

TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。

授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分－授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第１回：オリエンテーション

第２－15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【【自学自習に関するアドバイス】

1）e-learning（EnglishCentral）

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2）テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Akiko Tsuda et. al (2019) Discovering Cool Japan. Seibido, ￥2,500

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。欠席回数が４回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻は授業開始から15分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041232) Communicative English ⅡT(4) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期月2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 ポール・バテン	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力:英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト25%

授業での発表等:25%

TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。

授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分－授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第１回：オリエンテーション

第２－15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (EnglishCentral)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Discovering Cool Japan. Akiko Tsuda, Kayoko Kinshi, and Christopher Valvona. SEIBIDO.　　ISBN 9784791971879. 2,500 yen (2,700yen including tax).

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

金曜日13:00-14:00

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。欠席回数が４回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041233) Communicative English ⅡT(5) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期月2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 松島　欣哉	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

小テスト：10%
中間試験：20%
期末試験：20%
（この50%をどのように振り分けるかは授業担当者が決定してください。）
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分－授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Nobuhiro Kumai, Stephen Timson (2019). CBS News Break 4. (SEIBIDO), ¥2,400

オフィスアワー　　月曜日５校時
質問の内容を事前に連絡して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から10分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041234) Communicative English ⅡT(6) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期月2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 田口　明美	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

平常点(小テスト・授業への参加度):20%

期末試験:30%

TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Teruhiko Kadoyama, et al.(2019). NEW CONNECTION BOOK１.

SEIBIDO ￥2200 ISBN: 978-4-7919-3411-9

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041235) Communicative English ⅡT(7) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期月2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 柏原　智美	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

授業態度等：20%

期末試験：30%

TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Teruhiko Kadoyama, et al. (2019). NEW CONNECTION BOOK 1.　SEIBIDO　2,200円　ISBN:978-4-7919-3411-9

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041236) Communicative English ⅡT(8) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期月2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 HILL STEPHEN MICHAEL RICHARD	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習)・期末試験：50%
この50%をどのように振り分けるかは第１回目の授業で担当者が説明します
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない)
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない)

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
授業開始‐10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分‐授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動)
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2‐15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示)：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Teruhiko Kadoyama, et al. (2019). NEW CONNECTION 1. SEIBIDO ¥2,200 ISBN: 978-4-7919-3411-9

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041237) Communicative English ⅡT(9) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期月2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：50%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2‐15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Frazier, C. et al. TIME ZONES ２A (Second Ed.). NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING / CENGAGE Learning. ISBN: 978-1-305-51975-3

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041238) Communicative English ⅡT(10) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期月2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 川端　美都子	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修)	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習)・期末試験：50%

（小テスト10%：授業貢献点15%：期末試験：25%)

TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない)

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない)

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。

授業開始‐10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分‐授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動)

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2‐15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示)：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Catherine Frazier et al. Time Zones 2A(Second ed.), National Geographic/Cengage Learning.

オフィスアワー　　経済学部3号館3階　川端研究室

月曜：14時30分～

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041239) Communicative English ⅡT(11) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期月2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 木戸口　英樹	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

期末試験・中間テスト：４０％　＋　授業への参加姿勢（出席数、予習を含む）：１０％

TOEIC-IPの結果：３０％（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：２０％（獲得ポイントが６０%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。

授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分－授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Speak Easy, Katsunori Fujioka, et al. Kinseido, 2019, ￥1,944 (Tax included), ISBN 978-4-7647-4084-6 C1082

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041240) Communicative English ⅡA(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期木3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 柏原　智美	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

授業態度等：20%

期末試験：30%

TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。

授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分－授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Teruhiko Kadoyama, et al. (2019). NEW CONNECTION 3.　SEIBIDO　2,200円　ISBN:978-4-7919-7181-7

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041241) Communicative English ⅡA(2) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期木3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 木戸口　英樹	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

期末試験・中間テスト：４０％　＋　授業への参加姿勢（出席数、予習を含む)：１０％

TOEIC-IPの結果：３０％（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：２０％（獲得ポイントが６０%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。

授業開始‐10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分‐授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2‐15回：テキストを使用しての演習活動

第16回：期末テスト

授業外（日程は別途指示)：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

CBS NewsBreak 4,　Kumai Nobuhiro, Stephen Timson, Seibidou,　2019. ￥2,592 (Tax included), ISBN. 97847921971862

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041242) Communicative English ⅡA(3) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期木3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 瀬良　和彦	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
平常点（出席・発表・小テスト・提出物・授業への参加度など）25%
期末テスト25%（未受験の場合は単位を認定しない）
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Kumai,N. & Timson, S. (2019). CBS NewsBreak 4. Seibido. ¥2,400+税. ISBN978-4-7919-7186-2

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041243) Communicative English ⅡA(4) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期木3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 中島　友愛	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

期末テスト：30%
小テスト（毎回実施）：10%
授業への積極的な取り組み：10%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Nobuhiro Kumai, Stephen Timson (2019). CBS NewsBreak 4. Seibido.　¥2,400+税

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041244) Communicative English ⅡA(5) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期木3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 篠原　範子	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

出席・小テスト・授業態度など：50%（詳細は第1回授業時に説明）

TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Catherine Frazier et al. TIME ZONES 2A (Second ed.), National Geographic/Cengage Learning. ISBN: 978-1-305-51075-3

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041245) Communicative English ⅡA(6) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期木3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 竹中　千鶴	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）25%

期末試験：25%

TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Katsunori Fujioka, et.al. (2019). Speak Easy From Basic Conversation to Simplified Debate.　KINSEIDO

￥1,800

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041246) Communicative English ⅡA(7) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期木3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 鳥越　洋子	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）20%・期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分－授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

CNN Short News Vol.1. Seisuke Yasunami, Richard S. Lavin (2019) Asahi Press ¥1,200　ISBN: 978-4-255-15643-9

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041248) Communicative English ⅡM(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期木3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 HILL STEPHEN MICHAEL RICHARD	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習)・期末試験：50%
この50%をどのように振り分けるかは第１回目の授業で担当者が説明します
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない)
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない)

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
授業開始‐10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分‐授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動)
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2‐15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示)：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Teruhiko Kadoyama, et al. (2019). NEW CONNECTION 3. SEIBIDO ¥2,200 ISBN: 978-4-7919-7181-7

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041249) Communicative English ⅡM(2) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期木3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 David Billa	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

In class participation and effort : 20%
Midterm Exam: 15%
Final Exam: 15%
(a score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class)

TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

CBS NewsBreak 4. Kumai, Nobuhiro & Timson, Stephen. Seibido. 2019. 978-4-7919-7186-2

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041250) Communicative English ⅡM(3) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期木3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 川端　美都子	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：50%

（小テスト10%：授業貢献点15%：期末試験：25%)

TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

David Bohlke. Jenifer Wilkin. Time Zones 3A (Second Ed). National Geographic/ Cengage Learning.

オフィスアワー　　経済学部3号館3階　川端研究室

月曜：14時30分～

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041252) Communicative English ⅡNP(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 David Billa	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

In class participation and effort : 20%
Midterm Exam: 15%
Final Exam: 15%
(a score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class)

TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

CBS NewsBreak 4. Kumai, Nobuhiro & Timson, Stephen. Seibido. 2019. 978-4-7919-7186-2

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041253) Communicative English ⅡNP(2) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 中島　友愛	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

期末テスト：30%
小テスト（毎回実施）：10%
授業への積極的な取り組み：10%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Nobuhiro Kumai, Stephen Timson (2019). CBS NewsBreak 4. Seibido.　¥2,400+税

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041254) Communicative English ⅡNP(3) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 木戸口　英樹	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習)・期末試験：50%

（この50%をどのように振り分けるかは授業担当者が決定してください。）

TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示)：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Speak Easy, Katsunori Fujioka, et al. Kinseido, 2019, ￥1,944 (Tax included), ISBN 978-4-7647-4084-6 C1082

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041255) Communicative English ⅡT(12) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期月2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 中島　友愛	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

期末テスト：30%
小テスト（毎回実施）：10%
授業への積極的な取り組み：10%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Teruhiko Kadoyama, et al. (2018) New Connection Book 1. Seibido. ¥2,200+税
（第1巻から第3巻あるうちの、第1巻です。注意して購入するように。）

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

<table>
<tr><td rowspan="3">ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2
授業科目名　　(時間割コード：041256)
Communicative English ⅡT(13)
Communicative English Ⅱ
Communicative English II</td><td>科目区分
コミュニケーション科目</td><td>時間割
後期月2</td><td>対象年次及び学科
1～全学共通科目</td></tr>
<tr><td>水準・分野
B2ENG</td><td>DP・提供部局
abxG</td><td>対象学生・特定プログラムとの対応
1N</td></tr>
<tr><td>授業形態
Ex</td><td>単位数
2</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">担当教員名
永尾　智</td><td colspan="3">関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義</td></tr>
<tr><td colspan="3">履修推奨科目　　Communicative English III（２年次に履修）</td></tr>
</table>

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業は4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）：20%

期末試験：30%

TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

この授業では、座席は指定制です。

テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）を行います。

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：テキストを使用しての演習活動

第16回：定期試験

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

CNN Short News Vol.1.　安浪誠祐／Richard S. Lavin編著. 朝日出版社. 2019年. 1,200円＋税.

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041257) Communicative English ⅡNP(4) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 川端　美都子	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（２年次に履修)	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・e-learning）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習)・期末試験：50%

（小テスト10%：授業貢献点15%：期末試験：25%)

TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない)

e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない)

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動)

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示)：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Catherine Frazier et al. Time Zones 2A (Second Ed.) National Geographic/Cengage Learning.

オフィスアワー　　経済学部3号館3階　川端研究室

月曜：14時30分～

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041258) Communicative English ⅡZ(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II Z (1)　幸町キャンパス	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期月5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 水野　康一	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（卒業要件となっている場合）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習）

授業の概要

■この授業には受講制限が設けられています■

2年次生以上，かつ昨年後期のTOEIC-IPテストの結果が300点未満の者。工学部，農学部の学生については，それぞれのキャンパスで開講される同授業を履修すること。

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディングの演習を通して，英語能力の向上を目指します。
全受講生は、学期の終わりにTOEIC Bridgeテストを受験します（受験料は学生負担）。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：TOEIC Bridgeテストで120点（TOEIC300点相当）以上のスコアを取る。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。なおTOEIC Bridge未受験の学生は単位が認定されません。
TOEIC Bridgeの結果：100％
小テスト・授業での発表等（予習・復習)・授業内活動：0～30点。上記TOEIC Bridgeのスコアに加算し，合計120点以上を合格（C評価以上）とする。TOEIC Bridge未受験の場合は単位を認定しない。

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習活動（85分)，毎回の授業終了前に小テスト（5分)
授業外（日程は別途指示)：TOEIC Bridgeテスト

【自学自習に関するアドバイス】
教科書付属のCDを活用し，必ず予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC Bridge Lounge（TOEIC Bridgeで学ぶ役立つ英語）Terry O'Brienほか著　南雲堂　1800円＋税

オフィスアワー　　月曜　4校時（これ以外の時間については教員に相談のこと）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC Bridgeテストについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041259) Communicative English ⅡZ(2) Communicative English Ⅱ Communicative English II Z (2)　林町キャンパス	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 水野　康一	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（卒業要件となっている場合）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習）

授業の概要

■この授業には受講制限が設けられています■

2年次生以上，かつ昨年後期のTOEIC-IPテストの結果が300点未満の者。

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディングの演習を通して，英語能力の向上を目指します。

全受講生は、学期の終わりにTOEIC Bridgeテストを受験します（受験料は学生負担)。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：TOEIC Bridgeテストで120点（TOEIC300点相当）以上のスコアを取る。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。なおTOEIC Bridge未受験の学生は単位が認定されません。

TOEIC Bridgeの結果：100％

小テスト・授業での発表等（予習・復習)・授業内活動：0～30点。上記TOEIC Bridgeのスコアに加算し，合計120点以上を合格（C評価以上）とする。TOEIC Bridge未受験の場合は単位を認定しない。

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動)

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2‐15回：テキストを使用しての演習活動（85分)，毎回の授業終了前に小テスト（5分)

授業外（日程は別途指示)：TOEIC Bridgeテスト

【自学自習に関するアドバイス】

教科書付属のCDを活用し，必ず予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC Bridge Lounge（TOEIC Bridgeで学ぶ役立つ英語）Terry O'Brienほか著　南雲堂　1800円＋税

オフィスアワー　　月曜　4校時（これ以外の時間については教員に相談のこと)

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC Bridgeテストについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041260) Communicative English ⅡZ(3) Communicative English Ⅱ Communicative English II Z (2)　三木町キャンパス	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期木3	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 水野　康一	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Communicative English III（卒業要件となっている場合）	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習）

授業の概要

■この授業には受講制限が設けられています■

2年次生以上，かつ昨年後期のTOEIC-IPテストの結果が300点未満の者。

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディングの演習を通して，英語能力の向上を目指します。

全受講生は、学期の終わりにTOEIC Bridgeテストを受験します（受験料は学生負担)。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。 2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。 3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。 4. TOEIC：TOEIC Bridgeテストで120点（TOEIC300点相当）以上のスコアを取る。 5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。なおTOEIC Bridge未受験の学生は単位が認定されません。

TOEIC Bridgeの結果：100％

小テスト・授業での発表等（予習・復習)・授業内活動：0～30点。上記TOEIC Bridgeのスコアに加算し，合計120点以上を合格（C評価以上）とする。TOEIC Bridge未受験の場合は単位を認定しない。

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動)

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2‐15回：テキストを使用しての演習活動（85分)，毎回の授業終了前に小テスト（5分)

授業外（日程は別途指示)：TOEIC Bridgeテスト

【自学自習に関するアドバイス】

教科書付属のCDを活用し，必ず予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC Bridge Lounge（TOEIC Bridgeで学ぶ役立つ英語）Terry O'Brienほか著　南雲堂　1800円＋税

オフィスアワー　　月曜　4校時（これ以外の時間については教員に相談のこと)

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC Bridgeテストについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041301) Communicative English ⅢLJ(1) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期水1	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 HILL STEPHEN MICHAEL RICHARD	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　Academic English I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing). 3. Speak about personal topics in English; deliver 3 - 5-minute speeches in English &. 5-minute multimedia presentations in English.	

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 15%
Speech 1: 15%
Speech 2: 20%
Speech 3: 20%
Speech 4: 30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

Week 1: Orientation
Weeks 2 & 3:　　Preparation for speech 1
Weeks 4: Speech 1 class presentations
Weeks 5 & 6:　　Preparation for speech 2
Week 7:　　Speech 2 class presentations
Weeks 8 & 9:　　Preparation for speech 3
Week 10: Speech 3 class presentations
Weeks 11,12&13: Preparation for speech 4
Weeks 14 & 15: Speech 4 class presentations & self-assessments.

Week 1: Students should be prepared to introduce themselves to their instructor and classmates.
Week 2-15: In addition to the timely completion of course assignments and timely preparation for the presentations, students interested in self-study should expose themselves to a large amount of written and spoken English. Listening to English-language music while consulting the written lyrics, or watching English-language movies with subtitles in English are good possibilities for spoken English. English language books are the best source for written material. Students may consult the instructor for specific recommendations.

The instructor may modify this plan depending on progress of class

教科書・参考書等

Gershon, S.(2015).Present Yourself Level 2 Student's Book: Viewpoints CUP ISBN: 978-1107435780 ￥ 3,074

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041302) Communicative English ⅢLJ(2) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期水1	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 ニコラス　ダニエル　フライ	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English　I/II	

学習時間　　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing). 3. Deliver 3-5 minute presentations in English.	

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:

In-class effort: 10%　Mid-term presentation: 30%　Final presentation: 60%

授業計画並びに授業及び学習の方法

[Course Method]

In- class activities will center on tasks in the textbook. Students will practice presentation skills with partners, in groups, and before the class, as well as prepare for mid-term and final presentations.

[Course Schedule]

Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions
Week 2-5: GRFS and speech practice.
Week 6-7: Mid-term presentations.
Week 8-12: GRFS and speech practice.
Week 13: Final presentations workshop.
Week 14-15: Final presentations.

[Suggestions for self-study]
Week 1-5: Students should complete assigned homework and prepare for mid-term presentations.
Week 6-7: Students should be prepared to deliver mid-term presentations.
Week 8-13: Students should complete assigned homework and prepare for final presentations.
Week 14-15: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

LeBeau, C.,& Harrington, D. Getting Ready for Speech ISBN: 1929274491

オフィスアワー　　Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041303) Communicative English ⅢLJ(3) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期水1	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 Gudelia Garcia Fernandez Maria	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　Academic English I/II		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing). 3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute speeches in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.	

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Quizzes: 20%　In-class effort: 30%　Mid-term presentation: 20%　Final presentation: 30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.
[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions
[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-10: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 11-13: Students should prepare for final presentations.
Week 14-15: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

Present Yourself 1 Studient's Book with Audio CD: experiences by Steven Gershon

オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041304) Communicative English ⅢLJ(4) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期水1	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　Academic English　I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing). 3.Deliver a 5-minute presentation with visual support (either multi-media or real world props/handouts).	

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on:
In class effort: 30%
Homework/assignments: 20%
Midterm presentation: 20%
Final presentation 30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

Each class will incorporate the textbook and other supplementary materials. Many tasks will involve the paraphrasing, discussion and presentation of real-world information from sources such as newspapers, magazines and television. Students will gradually learn key speech and presentation language along with western gesturing techniques.

Week1: Introduction to course.
Week 2 ~ 5: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 6 ~ 7: Mid-term presentations.
Week 8 ~ 13: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 14: Final presentation workshop
Week 15 ~ 16: Final presentations.

教科書・参考書等

Present Yourself 2: viewpoints, Second Edition
Author: Steven Gershon
Cambridge University Press
ISBN
9781107435780
Price: 3033 Yen (amazon.jp)

オフィスアワー　　In class

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

<table>
<tr><td rowspan="3">ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1
授業科目名　　(時間割コード：041305)
Communicative English ⅢLJ(5)
Communicative English Ⅲ
Communicative English III</td><td>科目区分
コミュニケーション科目</td><td>時間割
前期水1</td><td>対象年次及び学科
2～全学共通科目</td></tr>
<tr><td>水準・分野
B2ENG</td><td>DP・提供部局
abxG</td><td>対象学生・特定プログラムとの対応
1N</td></tr>
<tr><td>授業形態
Ex</td><td>単位数
1</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">担当教員名
ポール・バテン</td><td colspan="3">関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義</td></tr>
<tr><td colspan="3">履修推奨科目　　Academic English　I/II</td></tr>
<tr><td colspan="4">学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業の概要
幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業の目的
この授業は、英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。</td></tr>
<tr><td colspan="3">到達目標</td><td>学習・教育到達目標
(工学部JABEE基準)</td></tr>
<tr><td colspan="3">1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. プレゼンテーションソフトを用いて５分間程度の発表を行うことができる。</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">成績評価の方法と基準
quizzes：20%, in-class effort：30%, mid-term presentation：20%, final presentation：30%</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業計画並びに授業及び学習の方法
【授業の方法】この授業は、教科書を通して、学生の英語コミュニケーション能力を磨くことが目的です。ペアワーク、グループワークという活動がこの授業の中心です。クラスメートと先生と、テーマを決めて、内容を準備して、少しずつ練習して、よりいい英語での発表をできるようになるのが教員の期待です。お互いに応援し、助け合い、評価し、自信をもって英語で話す・発表することが目標です。毎回、練習して、少しずつ英語の発表が上達する。

【授業計画】
第１回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第２回～第13回：Self-introductions, introducing someone, demonstration presentation, layout speech, book and movie review speech, show and tell.
第14・15回：プレゼンテーションを行う。具体的な指示は第５週目の授業で行う。計画的に準備しておくこと。

【授業外学習に関するアドバイス】
授業でいい発表できるように、授業へ来る前にテーマ・内容について調べる事が大事です。</td></tr>
<tr><td colspan="4">教科書・参考書等
Getting Ready for Speech. A Beginner's Guide to Public Speaking. Charles LeBeau and David Harrington. Language Solutions Inc. ISBN1-929274-45-9　www.languagesolutionsinc.com</td></tr>
<tr><td colspan="4">オフィスアワー　　月曜日、3:00～4:00 教育学部８号館４F
事前にメールで連絡してください。</td></tr>
<tr><td colspan="4">履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。</td></tr>
</table>

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041306) Communicative English ⅢLJ(6) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期水1	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 中西　ウェンディリー	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English　I/II	

学習時間　　Class meetings and preparation time per week　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, etc.)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills.　This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills.　The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1.Write a simple 3-minute speech in English 2.Deliver a simple 3-minute speech in English 3.Use appropriate gestures to accompany the delivery of the English speech. 4.Learn to engage in public speaking in English	

成績評価の方法と基準

Attendance:30%　In-class:30%　Speeches:40%

授業計画並びに授業及び学習の方法

Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; seating chart;casual self-introductions.
Week2 and 3: Unit One,textbook:speeches.
Week4 and 5: Unit Two,textbook:speeches.
Week6 and 7: Unit Three,textbook:speeches.
Week8 and 9: Unit Four,textbook:speeches.
Week10 and 11: Unit Five,textbook:speeches.
Week12 and 13: Unit Six,textbook:speeches.
Week14 and 15: Unit Seven,textbook:speeches.
Week16: Students deliver final speeches.

Suggestions for self-study:
Week One: Students should buy the textbook before our first class meeting.
Weeks 2-15: Students should be careful to do all the assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.

教科書・参考書等

GETTING READY for SPEECH by Charles LeBeau and David Harrington,Language Solutions,Inc.ISBN 1-929274-45-9

オフィスアワー　　Office hours: To be provided by instructors; or students should consult instructors to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。欠席回数が４回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻を３回すると欠席１回となります。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041307) Communicative English ⅢLJ(7) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期水1	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 David Billa	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　Academic English I/II		

学習時間　　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing). 3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute speeches in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.	

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
- Assignments: 20%
- In-class effort: 30%
- Mid-term presentation: 20%
- Final presentation: 30%

(a score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class)

授業計画並びに授業及び学習の方法

[Course Method]

Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]

Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions
Week 2-6: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 7-8: Mid-term presentations.
Week 9-13: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 14: Final presentation workshop.
Week 15-16: Final presentations.

[Suggestions for self-study]

Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-14: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 4-6: Students should also prepare for mid-term presentations.
Week 12-14: Students should also prepare for final presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations.

教科書・参考書等

Present Yourself Level 1 by Gershon, S.- Cambridge University Press (2015) - ISBN: 978-1-10743563-6

オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041308) Communicative English ⅢLJ(8) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期水1	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 中島　友愛	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English　I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。 3. 身近なことについて英語で伝えることができる。	

成績評価の方法と基準

Quiz:20%
In-class effort: 30%
Midterm speech:20%
Final speech:30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業は，まず教科書と付属の動画を用いて、基本となるモデルスピーチを学習する。後半は補助資料を用い，speechに関する基礎知識を深めたり，自分の意見が正しく効果的に聞き手に伝わるように実践する。毎回授業の終わりに小テストを実施する。

【授業計画】

第１回：オリエンテーション
第２回～第８回：教科書を用いての演習活動
第９回： Midterm speech
第１０回～第１４回：教科書を用いての演習活動
第１５回～第１６回：Final speech

【授業外学習に関するアドバイス】

第１回：事前に教科書を購入し，内容を確認してから授業に臨むこと。
第２回以降：十分に予習をした上で授業に臨むこと。
計２回のspeechのために計画的に準備しておくこと。

教科書・参考書等

Morita, A, Harada, S, et al. (2018). Winning Presentations. Seibido. ¥2,500＋税

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。欠席回数が４回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻を３回すると欠席１回となります。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

<table>
<tr><td rowspan="3">ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1
授業科目名　　(時間割コード：041309)
Communicative English ⅢLJ(9)
Communicative English Ⅲ
Communicative English III</td><td>科目区分
コミュニケーション科目</td><td>時間割
前期水1</td><td>対象年次及び学科
2～全学共通科目</td></tr>
<tr><td>水準・分野
B2ENG</td><td>DP・提供部局
abxG</td><td>対象学生・特定プログラムとの対応
1N</td></tr>
<tr><td>授業形態
Ex</td><td>単位数
1</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">担当教員名
木戸口　英樹</td><td colspan="3">関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義</td></tr>
<tr><td colspan="3">履修推奨科目　　Academic English　I/II</td></tr>
<tr><td colspan="4">学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業の概要
幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業の目的
この授業は、英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。</td></tr>
<tr><td colspan="3">到達目標</td><td>学習・教育到達目標
(工学部JABEE基準)</td></tr>
<tr><td colspan="3">1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフーズ(言い換え)などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 身近な出来事について自分の考えを英語で伝えることができる。</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">成績評価の方法と基準
１３回の Presentations：７０%, Final exam：２０%, Participation: １０%</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業計画並びに授業及び学習の方法
【授業の方法】
多様なトピックについて、自分の意見が英語で述べられるように訓練を行う。そのために、毎回指示された準備を行って授業に臨むこと。１時限内で英語で話す機会が全員に与えられます。
【授業計画】
第１回：イントロダクション、次回の準備の指示
第２回～第７回：異なったトピックに基づいてコミュニケーション活動を行う(1st stage)。
第8回～14回：異なったトピックに基づいてコミュニケーション活動を行う(2nd stage)。
第15回：Final Exam
【授業外学習に関するアドバイス】
授業に臨む前に十分な準備を行い授業に臨むこと。まず自分の意見を明確にすることが重要。このことは批判的思考を養うことにもつながる。</td></tr>
<tr><td colspan="4">教科書・参考書等
テキストは指定しない。毎回事前にトピックの解説とその準備資料を配布するので、十分な準備をして授業に臨むこと。</td></tr>
<tr><td colspan="4">オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定します。</td></tr>
<tr><td colspan="4">履修上の注意・担当教員からのメッセージ
遅刻は授業開始から２０分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。</td></tr>
</table>

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041310) Communicative English ⅢLJ(10) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期水1	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 永尾　麻美	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English　I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
身近なことを英語で伝えることができる。	

成績評価の方法と基準

In-class efforts: 50%

Recitation: 50%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

英文を繰り返し音読、筆写させ、授業の終わりにその成果をチェックする。学期中に数回、暗唱テストを行う。

【授業計画】

第1回：ガイダンス

第2回～15回：演習活動

第16回：Final exam

【授業外学習に関するアドバイス】

自宅で暗唱の練習をする際には、ＣＤを何度も聴いて、　　★発音　　★リズム　　を極力真似ましょう。

教科書・参考書等

『英会話・ぜったい・音読　続・標準編』講談社インターナショナル、國広正雄・千田潤一監修（2004）￥1,404.

オフィスアワー　　授業時に発表します。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

欠席回数が４回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻を３回すると欠席１回となります。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041311) Communicative English ⅢLJ(11) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期水1	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 中住　幸治	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English　I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。 3. 英語で３分間程度のスピーチを行うことができる。	

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　　In-class effort：20%　　Presentations：60%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

テキストに従って授業を展開します。基本的に演習活動→presentationという流れで、個人あるいはグループで計5回のpresentationを行ってもらいます。

【授業計画】

第1~2回：Unit 1
第3~5回：Unit 2
第6~8回：Unit 4
第9~11回：Unit 5
第12~15回：Unit 8

【授業外学習に関するアドバイス】

Presentation: 原稿準備やリハーサルは入念に行っておいてください。

教科書・参考書等

Bartelen, H. & Kostiuk, M. (2019). Ready to Present, National Geographic Learning, ISBN:　978-4-86-312351-9, ¥2,500+税

オフィスアワー　　木曜日　12:30~13:30　幸町キャンパス北5号館5階　中住研究室

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041313) Communicative English ⅢED(1) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 HILL STEPHEN MICHAEL RICHARD	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　Academic English I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing). 3. Speak about personal topics in English; deliver 3 - 5-minute speeches in English &. 5-minute multimedia presentations in English.	

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 15%
Speech 1: 15%
Speech 2: 20%
Speech 3: 20%
Speech 4: 30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

Week 1: Orientation
Weeks 2 & 3:　　Preparation for speech 1
Weeks 4: Speech 1 class presentations
Weeks 5 & 6:　　Preparation for speech 2
Week 7:　　Speech 2 class presentations
Weeks 8 & 9:　　Preparation for speech 3
Week 10: Speech 3 class presentations
Weeks 11,12&13: Preparation for speech 4
Weeks 14 & 15: Speech 4 class presentations & self-assessments.

Week 1: Students should be prepared to introduce themselves to their instructor and classmates.
Week 2-15: In addition to the timely completion of course assignments and timely preparation for the presentations, students interested in self-study should expose themselves to a large amount of written and spoken English. Listening to English-language music while consulting the written lyrics, or watching English-language movies with subtitles in English are good possibilities for spoken English. English language books are the best source for written material. Students may consult the instructor for specific recommendations.

The instructor may modify this plan depending on progress of class

教科書・参考書等

Gershon, S.(2015).Present Yourself Level 2 Student's Book: Viewpoints CUP ISBN: 978-1107435780 ￥ 3,074

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041314) Communicative English ⅢED(2) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 森川　光与	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English　I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。 3. 英語で5分間程度のスピーチを行うことができる。 4. 身近なことについて英語で伝えることができる。	

成績評価の方法と基準

Quiz/Homework：25%　　In-class effort：25%　　Midterm presentation：20%　　Final presentation：30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

本講座では、社会で必要となるコミュニケーションスキルを磨くことを目指して、スピーキングを主としたアクティビティを実施します。

【授業計画】

第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。

第2回～第14回：テキストに沿ってプレゼンテーションの技法を学ぶ。途中7, 8回目あたりに中間試験を実施しますが、詳細はクラスでお話します。

第15回+期末試験日：プレゼンテーションを行う。具体的な指示は授業で行います。計画的に準備しておくこと。

【授業外学習に関するアドバイス】

英語によるスピーチに数多く触れるよう意識してください。TED Talkなどのスピーチ動画を定期的に観るよう心がけましょう。

教科書・参考書等

Morita, A.(2018). Winning Presentation. Seibido, ￥2,500+税

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。欠席回数が４回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻を３回すると欠席１回となります。遅刻は授業開始から15分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041315) Communicative English ⅢED(3) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 篠原　範子	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English　I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。 3. テキストで課題となっている内容のスピーチが英語で行うことができる。	

成績評価の方法と基準

In-class effort：30%　　Assignment: 10%　　Speech：60%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

テキストに従って授業を進めます。

授業の中で５回スピーチを行います。スピーチはテキストの内容に沿って行います。

【授業計画】

第１回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。

第２回以降：テキストに従って行います。

【授業外学習に関するアドバイス】

授業での積極的な参加、また与えられた課題は必ずやってくることを前提とします。

教科書・参考書等

Bartelen, H. & Kostiuk, M. (2019). Ready to Present - A Guide to Better Presentations. Cengage, ¥2,500+税、ISBN: 978-4-86312-351-9

オフィスアワー　　必要があれば授業時間に。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。欠席回数が４回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻を３回すると欠席１回となります。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

ナンバリングコード　B2ENG-axxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041316) Communicative English ⅢED(4) Communicative English Ⅲ Communicative EnglishⅢ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 axxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 ｳｨﾘｰ･ｲｱﾝ･ﾃﾞﾋﾞｯﾄﾞ	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English Ⅰ/Ⅱ	

学習時間　Class meetings and preparation time per week　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to become more confident and competent English speakers by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students will become enabled to: 1. Voice their own opinions and offer information in pairs, groups, and in class discussion; 2. Describe pictures, videos and other material using simple English and gestures; 3. Deliver 5-7 minute presentations about personal and social topics in English, using PowerPoint	

成績評価の方法と基準

Participation : 20%; Homework, quizzes & other in-class work: 30%; Midterm presentation : 20%; Final presentation : 30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【Class method】

In a typical class, activities in the textbook (Present Yourself 1) will fill the first hour of class time. During the last 30 minutes, students will practice speaking and presentation skills. Music, videos, and short readings will be used as topics for discussion and other tasks. Students will often work in pairs and groups, and deliver short speeches in front of the class. Only English will be used in the classroom.

【Class schedule】

Week 1: Introduction to course, instructor, and students
Week 2-6: Textbook & speech practice
Week 7-8: Mid-term presentations
Week 9-12: Textbook & speech practice
Week 13: Final presentation workshop
Week 14-15: Final presentations

【Suggestions for self-study】

Week 1～5: Students should complete homework in the textbook and prepare for quizzes and other assignments.
Week 6～8: Students should prepare for mid-term presentations and write self-assessments.
Week 9～12: Students should complete homework in the textbook and prepare for quizzes or other assignments.
Week 13～15: Students should prepare for final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

Gershon, S. (2015). Present Yourself 1 (2nd Edition). Cambridge University Press. ISBN: 978-1-107-43563-6 (¥2,974)

オフィスアワー　Information about office hours and arranging meetings with the instructor will be provided on the first day of class.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。欠席回数が４回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻を３回すると欠席１回となります。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041317) Communicative English ⅢED(5) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 太田　眞理	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English　I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。 3. プレゼンテーションソフトを用いて５分間程度の発表を行うことができる。	

成績評価の方法と基準

Assignment ： 30%　In-class effort：20%
Midterm presentation ： 20%　Final presentation：30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

プレゼンテーションに必要な様々な要素や表現パターンを、ペアーワーク、グループワークを通して繰り返し練習することによって、自信を持って人前で英語を話せるようになる訓練をいたします。積極的に授業に参加して、話すだけでなく､パートナーやクラスメートの話すことを注意深く聞き､お互いにリアクションをしあうことが必要です。授業中の活動を有意義なものにするためにも、宿題にする課題は必ずやってきましょう。

【授業計画】

第 1回：オリエンテーション Getting ready
第 2回～第 3回 Unit1 A good friend
第 4回～第 5回 Unit2 A favorite place
第 6回～第 7回 Unit3 A prized possession
第 8回 Midterm presentation
第9回～第10回 Unit4 A memorable experience
第11回～第12回 Unit5 I'll show you how
第13回～第14回 Unit6 Screen magic
第 15回 Review
期末試験: Final presentation

教科書・参考書等

Gershon, S. (2015) Present Yourself Level 1 Student's Book: Experiences. ISBN: 978-1107435636 ￥ 3,074

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041318) Communicative English ⅢED(6) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 鳥越　秀知	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English　I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。 3. 身近なことを英語で伝えることができる。	

成績評価の方法と基準

Assignment：20%　　In-class effort：20%　　Speech：30%　　Exam: 30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

第１回 Introduction

第２回～第１５回　教科書を用いたスピーキング活動

参加学生諸君の状況に基づいて，interviewやspeechを適宜加えていきます。

【授業外学習に関するアドバイス】

スピーキング活動：教科書を予習し、テーマに関わる語彙を準備して授業に臨んでください。

InterviewやSpeech：発表原稿の準備，リハーサルを入念に行ってください。

教科書・参考書等

主テキスト

Pond Christopher. (2018) English Presentations Today: Language and Skills for International Presentations. NAN'UN-DO. ¥2,160 ISBN: 978-4-523-17864-4

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上，日時を決定してください。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041319) Communicative English ⅢED(7) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 木戸口　英樹	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English　I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。 3. 身近な出来事について自分の考えを英語で伝えることができる。	

成績評価の方法と基準

１３回の Presentations：７０%, Final exam：２０%, Participation: １０%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

多様なトピックについて、自分の意見が英語で述べられるように訓練を行う。そのために、毎回指示された準備を行って授業に臨むこと。１時限内で英語で話す機会が全員に与えられます。

【授業計画】

第１回：イントロダクション、次回の準備の指示

第２回～第７回：異なったトピックに基づいてコミュニケーション活動を行う(1st stage)。

第8回～14回：異なったトピックに基づいてコミュニケーション活動を行う(2nd stage)。

第15回：Final Exam.

【授業外学習に関するアドバイス】

授業に臨む前に十分な準備を行い授業に臨むこと。まず自分の意見を明確にすることが重要。このことは批判的思考を養うことにもつながる。

教科書・参考書等

テキストは指定しない。毎回事前にトピックの解説とその準備資料を配布するので、十分な準備をして授業に臨むこと。

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定します。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041320) Communicative English ⅢED(8) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 中住　幸治	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English　I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。 3. 英語で３分間程度のスピーチを行うことができる。	

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　　In-class effort：20%　　Presentations：60%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

テキストに従って授業を展開します。基本的に演習活動→presentationという流れで、個人あるいはグループで計4回のpresentationを行ってもらいます。

【授業計画】

第1~2回：Unit 1
第3~5回：Unit 2
第6~8回：Unit 4
第9~11回：Unit 5
第12~15回：Unit 8

【授業外学習に関するアドバイス】

Presentation: 原稿準備やリハーサルは入念に行っておいてください。

教科書・参考書等

Bartelen, H. & Kostiuk, M. (2019). Ready to Present, National Geographic Learning, ISBN:　978-4-86-312351-9, ¥2,500+税

オフィスアワー　　木曜日　12:30~13:30 幸町キャンパス北5号館5階　中住研究室

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041321) Communicative English ⅢED(9) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 小西　廣司	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English　I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。 3. 身近なことについて英語で伝えることができる。	

成績評価の方法と基準

小テスト（ペアワーク）・授業への参加度（提出物・予習・復習を含む）：50%
期末試験：50%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
テキストを使用し、英語によるコミュニケーション活動の練習とその内容をベースにした小テストの実施。基本的に授業1回あたり2レッスンを進みます。
【授業計画】
第1回：オリエンテーション。
第2回 - 第15回：テキストを使用しての演習活動。
期末試験
【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨んでください。
第2回 - 第15回：教員の指示に従い、十分に予習してから授業に臨んでください。
その他：予習する際、授業で毎回課せられる小テストの範囲を単に丸暗記するのではなく、コミュニケーション方略を駆使し、現場で使用するコミュニケーション活動になるように練習してください。

教科書・参考書等

Buckingham, A. & Lansford, L. (2019). Passport: 2nd Edition Level 1. Oxford University Press. ￥2,841

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

<table>
<tr><td rowspan="4">ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1
授業科目名　　(時間割コード：041322)
Communicative English ⅢED(10)
Communicative English Ⅲ
Communicative English III</td><td>科目区分
コミュニケーション科目</td><td>時間割
前期金5</td><td>対象年次及び学科
2～全学共通科目</td></tr>
<tr><td>水準・分野
B2ENG</td><td>DP・提供部局
abxG</td><td>対象学生・特定プログラムとの対応
1N</td></tr>
<tr><td>授業形態
Ex</td><td>単位数
1</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">担当教員名
川端　美都子</td><td colspan="3">関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義</td></tr>
<tr><td colspan="3">履修推奨科目　　Academic English　I/II</td></tr>
<tr><td colspan="4">学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業の概要
幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業の目的
この授業は、英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。</td></tr>
<tr><td colspan="3">到達目標</td><td>学習・教育到達目標
(工学部JABEE基準)</td></tr>
<tr><td colspan="3">1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3.　自分自身の生活や将来の目標について、何も見ずに3分間程度で中間発表を行うことができる。
4. 自分の周りにある社会の出来事について、プレゼンテーションソフトを用いながら、５分間程度の期末発表を行うことができる。</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">成績評価の方法と基準
評価の内訳：

小テスト・課題等：20%
授業貢献：25%
中間発表：25%
期末発表：30%</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業計画並びに授業及び学習の方法</td></tr>
<tr><td colspan="4">【授業の方法】
授業は講義と会話演習を組み合わせた形で行います。活発で積極的なな発言・会話への取り組みは、授業貢献として高く評価します。また、教科書内の重要な表現は、毎回Quizを行ったうえで授業内の会話実践で使っていきますので、予習をしっかりしてくるようにしてください。

【授業計画】
第１回：オリエンテーションと教科書UNIT 1
第２回～6回：教科書を用いた演習
第7回：中間プレゼンテーション
第8-12回：教科書を用いた演習
第13-15回：期末プレゼンテーション。具体的な指示は授業時に説明するので、計画的に準備しておくこと。

【授業外学習に関するアドバイス】
第１回目の授業の前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
中間・期末プレゼンテーションについての具体的な説明は授業時に行います。
計画的に準備をするようにしてください。</td></tr>
<tr><td colspan="4">教科書・参考書等
Honna, Nobuyuki.(2019). This is My Presentation! Kirihara-shoten, ￥2,300+税</td></tr>
<tr><td colspan="4">オフィスアワー　　経済学部3号館3階　川端研究室
月曜：14時30分～</td></tr>
<tr><td colspan="4">履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し。内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。</td></tr>
</table>

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041323) Communicative English ⅢED(11) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 ﾏｸﾗﾊﾝ･ｼﾞｪﾗﾃﾞｨｰﾝ	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English I/II	

学習時間　　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing). 3. Deliver 3-5-minute multi-media presentations in English.	

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Mini-presentation 1: 10%
Mini-presentation 2: 10%
Mid-term presentation: 30%
Mini-presentation 3: 10%
Mini-presentation 4: 10%
Final presentation: 30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Students should be prepared to introduce themselves in English in front of the class.
Week 2: Chapter 1 - A person I admire: Learning how to make effective notecards, and good eye contact
Week 3: Chapter 1 - A person I admire: Learning how to start and end presentations; Mini-presentation 1
Week 4: Chapter 2 - A great vacation: Using PowerPoint, Using gestures
Week 5: Chapter 2 - A great vacation: Learning about body language; Mini-presentation 2
Week 6: Chapter 3 - Young people Today: Making and using effective visual aids, using statistics; Mid-term topic assigned
Week 7: Chapter 3 - Young people today: Learning how to emphasize important information
Week 8: Mid-term presentation
Week 9: Chapter 4 - Let me explain: Explaining a process
Week 10: Chapter 4 - Mini presentation 3
Week 11:Chapter 5 - In my opinion: Giving a persuasive presentation; Using your voice effectively; Final presentation topic assigned.
Week 12: Chapter 5 - In my opinion: Mini-presentation 4
Week 13: Chapter 6 - In the News: Summarizing a news story; Final presentation preparation/workshop
Week 14-15: Final presentations

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-7: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.

Week 8: Midterm-presentations
Week 9-13: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 14-15: Final presentations

教科書・参考書等
Present Yourself 2, 2nd edition by Steven Gershon. Cambridge (2015). ISBN: 978-1-107-4358-0 ¥2916

オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041324) Communicative English ⅢT(1) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金4	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 David Billa	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　Academic English I/II		

学習時間　　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing). 3. Speak about personal topics in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.	

成績評価の方法と基準

- Assignments: 20%
- In-class effort: 30%
- Mid-term presentation: 20%
- Final presentation: 30%

(a score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class)

授業計画並びに授業及び学習の方法

[Course Method]

Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]

Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions
Week 2-6: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 7-8: Mid-term presentations.
Week 9-13: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 14: Final presentation workshop.
Week 15-16: Final presentations.

[Suggestions for self-study]

Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-14: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 3-5: Students should also prepare for mid-term presentations.
Week 12-14: Students should also prepare for final presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations.

教科書・参考書等

Present Yourself Level 2 by Gershon, S.- Cambridge University Press (2015) - 2015 - ISBN: 978-1-107-43578-0

オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041325) Communicative English ⅢT(2) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金4	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　Academic English　I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing). 3. Deliver a 5-minute presentation with visual support (either multi-media or real world props/handouts).	

成績評価の方法と基準

In class effort: 30%
Homework/assignments: 20%
Midterm presentation: 20%
Final presentation 30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

Each class will incorporate the textbook and other supplementary materials. Many tasks will involve the paraphrasing, discussion and presentation of real-world information from sources such as newspapers, magazines and television. Students will gradually learn key speech and presentation language along with western gesturing techniques.

Week1: Introduction to course.
Week 2 ~ 5: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 6 ~ 7: Mid-term presentations.
Week 8 ~ 13: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 14: Final presentation workshop
Week 15 ~ 16: Final presentations.

教科書・参考書等

Present Yourself 2: viewpoints, Second Edition (2015)
Author: Steven Gershon
Cambridge University Press
ISBN
9781107435780
price:3033 Yen (amazon)

オフィスアワー　　In class

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041326) Communicative English ⅢT(3) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金4	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 アーノルド・デビット	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English Ⅰ/Ⅱ	

学習時間　Class meetings and preparation time per week　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills.　This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills.　The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing). 3. Speak about personal topics in English; deliver 3-minute speeches in English; deliver 5-minute multi-media presentations in English.	

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on:
In-class participation and other assignments 40%
Midterm presentation 20%
Final presentation 40%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【Course Method】

Class work will center on activites in the textbook, and aspects of the speech act will be introduced as the semester unfolds (including the verbal message, non-verbal message and rhetorical message). Students will be given many opportunities in class to practice these skills. As a rule, Japanese will not be allowed in class.

(1) Introduction to the course
(2) Introducing another person
(3) Review and Intro to next topic
(4) Introducing another person
(5) Review and Intro to next topic
(6) Demonstration speech
(7) Mid-term mini presentation
(8) Book and movie review
(9) Review and Intro to next topic
(10) Final presentation assigned
(11) Show and tell
(12) Review and Intro to next topic
(13) Preparation for final speech
(14) Preparation for final speech
(15) Final presentations
(16) Final presentations

【Suggestions for self-study】

Instructors should write specific advice to assist students' out-of-class study during the semester.　An example is provided below.

Week 1: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content.
Week 2～10: Students should complete assigned homework from the textbook and prepare for quizzes.
Week 11～13: Students should prepare for final presentations.
Week 14 & 15: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等 教科書：Presenting Science by Kiggell,T.etal.macmillian Languagehouse ISBN:4-7773-6262-2
オフィスアワー　　In class
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041327) Communicative English ⅢT(4) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金4	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 吉川　友子	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English　I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。 3. 身近なことについて英語で２分間程度のまとまった内容を伝えることができる。	

成績評価の方法と基準

評価の案を示しておきますが、最終的な判断は授業担当者でお願いします。評価の一部として期末テストを行うことも可能です。

Quiz：20%　　In-class effort：20%　　Midterm presentation：30%　　Final presentation：30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

テキストに沿って、アイコンタクトやジェスチャーなどの非言語ツールを重視しつつ英語によるプレゼンテーションのしかたを学習します。基本的に授業１回で１ユニット進め、具体的な表現練習を重ね、まとまった内容を話すことへと発展させていきます。

【授業計画】

第１回：オリエンテーション、ユニット１
第２回～第７回：演習活動（ユニット２～７）
第８回：中間発表
第９回～第１５回：演習活動（ユニット８～１４）
第１６回：期末発表

【授業外学習に関するアドバイス】

・予習復習の具体的な内容については、毎回の授業で指示する。最低２回の課題提出と頻繁な小テストも評価に含まれることに注意すること。
・第８回および第16回には評価のためのプレゼンテーション（発表）を課す。具体的な指示は直前の授業で行うので、計画的に準備しておくこと。

教科書・参考書等

本名信行, 竹下裕子, Allan, Anthony. (2018) This is My Presentation! （動画を活用する英語プレゼンテーションの基礎） 桐原書店 2,300円＋税（税込2,484円）
ISBN: 978-4-342-55012-6

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041328) Communicative English ⅢT(5) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金4	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English　I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。 3. 英語で３分間程度のスピーチを行うことができる。	

成績評価の方法と基準

クイズ、授業参加、課題、２回のプレゼンテーションを評価します。

Quiz：20%　　In-class effort：30%　　Midterm presentation：20%　　Final presentation：30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

教科書に沿ってスピーチ､プレゼンテーションに利用できる表現を覚える。２回のプレゼンテーションの準備をする。

【授業計画】

第1回：Introduction

第2回～7回：DVD,CDを用いて教科書のUnit 1 ～ 6を進める。

第8回：Midterm Presentation

第9回～14回: DVD,CDを用いて教科書のUnit 7 ～ 12を進める。

第15回：Final Presentation

【授業外学習に関するアドバイス】

第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。

第2回以降：授業に積極的に参加し、期限内課題提出を厳守すること。

教科書・参考書等

Morikawa, S./ Harrington, L.　Global Connections　Communicative English with National Geographic Video. NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING / CENGAGE Learning.　¥2,400＋Tax　ISBN: 978-1-305-58442-6

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041329) Communicative English ⅢT(6) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金4	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 田口　明美	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。 3. 身近なことについて英語で伝えることができる。	

成績評価の方法と基準

小テスト2回: 40%
授業への参加度: 20%
中間プレゼンテーション: 20%
期末プレゼンテーション: 20%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

1. ペア・ワークを多く取り入れてスピーキング能力の向上を目指します。
2. 第8回と第15回にプレゼンテーションとディスカッションを行います。

【授業計画】

第1回: オリエンテーション
第2回～6回: 演習活動
第7回: 小テスト/演習活動
第8回: 中間プレゼンテーション＋ディスカッション
第9回～13回: 演習活動
第14回: 小テスト/演習活動
第15回: 期末プレゼンテーション＋ディスカッション

【授業外学習に関するアドバイス】

第1回: 事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨んで下さい。
第2回～7回: 小テスト及びプレゼンテーションに備えてください。
　　具体的な指示はネットワークを通して行います。
第9回～14回: 小テスト及びプレゼンテーションに備えてください。
　　具体的な指示はネットワークを通して行います。

教科書・参考書等

教科書: Andrew E. Bennett. English Listening and Speaking Patterns １. (2018) Nan'un-do, ￥2000+税　ISBN: 978-4-523-17842-2 C0082

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041330) Communicative English ⅢT(7) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 David Billa	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　Academic English I/II		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing). 3. Speak about personal topics in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.	

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
- Assignments: 20%
- In-class effort: 30%
- Mid-term presentation: 20%
- Final presentation: 30%

(a score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class)

授業計画並びに授業及び学習の方法

[Course Method]

Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]

Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions
Week 2-6: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 7-8: Mid-term presentations.
Week 9-13: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 14: Final presentation workshop.
Week 15-16: Final presentations.

[Suggestions for self-study]

Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-14: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 3-5: Students should also prepare for mid-term presentations.
Week 12-14: Students should also prepare for final presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations.

教科書・参考書等

Present Yourself Level 2 by Gershon, S.- Cambridge University Press (2015) - 2015 - ISBN: 978-1-107-43578-0

オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041331) Communicative English ⅢT(8) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　Academic English　I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing). 3.Deliver a 5-minute presentation with visual support (either multi-media or real world props/handouts).	

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on:
In class effort: 30%
Homework/assignments: 20%
Midterm presentation: 20%
Final presentation 30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

Each class will incorporate the textbook and other supplementary materials. Many tasks will involve the paraphrasing, discussion and presentation of real-world information from sources such as newspapers, magazines and television. Students will gradually learn key speech and presentation language along with western gesturing techniques.

Week1: Introduction to course.
Week 2 ~ 5: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 6 ~ 7: Mid-term presentations.
Week 8 ~ 13: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 14: Final presentation workshop
Week 15 ~ 16: Final presentations.

教科書・参考書等

Present Yourself 2: viewpoints, Second Edition (2015)
Author: Steven Gershon
Cambridge University Press
ISBN
9781107435780
price: 3033 Yen (amazon)

オフィスアワー　　In class

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041332) Communicative English ⅢT(9) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 アーノルド・デビット	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English Ⅰ/Ⅱ	

学習時間　Class meetings and preparation time per week　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills.　This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills.　The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing). 3. Speak about personal topics in English; deliver 3-minute speeches in English; deliver 5-minute multi-media presentations in English.	

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on:
In-class participation and other assignments 40%
Midterm presentation 20%
Final presentation 40%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【Course Method】

Class work will center on activites in the textbook, and aspects of the speech act will be introduced as the semester unfolds (including the verbal message, non-verbal message and rhetorical message). Students will be given many opportunities in class to practice these skills. As a rule, Japanese will not be allowed in class.

(1) Introduction to the course
(2) Introducing another person
(3) Review and Intro to next topic
(4) Introducing another person
(5) Review and Intro to next topic
(6) Demonstration speech
(7) Mid-term mini presentation
(8) Book and movie review
(9) Review and Intro to next topic
(10) Final presentation assigned
(11) Show and tell
(12) Review and Intro to next topic
(13) Preparation for final speech
(14) Preparation for final speech
(15) Final presentations
(16) Final presentations

【Suggestions for self-study】

Instructors should write specific advice to assist students' out-of-class study during the semester.　An example is provided below.

Week 1: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content.
Week 2～10: Students should complete assigned homework from the textbook and prepare for quizzes.
Week 11～13: Students should prepare for final presentations.
Week 14 & 15: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等 教科書：Presenting Science by Kiggell,T.etal.macmillian Languagehouse ISBN:4-7773-6262-2
オフィスアワー　　In class
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041333) Communicative English ⅢT(10) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 吉川　友子	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English　I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。 3. 身近なことについて英語で２分間程度のまとまった内容を伝えることができる。	

成績評価の方法と基準

評価の案を示しておきますが、最終的な判断は授業担当者でお願いします。評価の一部として期末テストを行うことも可能です。

Quiz：20%　　In-class effort：20%　　Midterm presentation：30%　　Final presentation：30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

テキストに沿って、アイコンタクトやジェスチャーなどの非言語ツールを重視しつつ英語によるプレゼンテーションのしかたを学習します。基本的に授業１回で１ユニット進め、具体的な表現練習を重ね、まとまった内容を話すことへと発展させていきます。

【授業計画】

第１回：オリエンテーション、ユニット１
第２回～第７回：演習活動（ユニット２～７）
第８回：中間発表
第９回～第１５回：演習活動（ユニット８～１４）
第１６回：期末発表

【授業外学習に関するアドバイス】

・予習復習の具体的な内容については、毎回の授業で指示する。最低２回の課題提出と頻繁な小テストも評価に含まれることに注意すること。
・第８回および第16回には評価のためのプレゼンテーション（発表）を課す。具体的な指示は直前の授業で行うので、計画的に準備しておくこと。

教科書・参考書等

本名信行, 竹下裕子, Allan, Anthony. (2018) This is My Presentation! （動画を活用する英語プレゼンテーションの基礎） 桐原書店 2,300円＋税（税込2,484円）
ISBN: 978-4-342-55012-6

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

<table>
<tr><td rowspan="3">ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1
授業科目名　　(時間割コード：041334)
Communicative English ⅢT(11)
Communicative English Ⅲ
Communicative English III</td><td>科目区分
コミュニケーション科目</td><td>時間割
前期金5</td><td>対象年次及び学科
2～全学共通科目</td></tr>
<tr><td>水準・分野
B2ENG</td><td>DP・提供部局
abxG</td><td>対象学生・特定プログラムとの対応
1N</td></tr>
<tr><td>授業形態
Ex</td><td>単位数
1</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">担当教員名
ウィリアムズ　厚子</td><td colspan="3">関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義</td></tr>
<tr><td colspan="3">履修推奨科目　　Academic English　I/II</td></tr>
<tr><td colspan="4">学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業の概要
幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業の目的
この授業は、英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。</td></tr>
<tr><td colspan="3">到達目標</td><td>学習・教育到達目標
(工学部JABEE基準)</td></tr>
<tr><td colspan="3">1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 英語で３分間程度のスピーチを行うことができる。</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">成績評価の方法と基準
クイズ、授業参加、課題、２回のプレゼンテーションを評価します。
Quiz：20%　In-class effort：30%　Midterm presentation：20%　Final presentation：30%</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業計画並びに授業及び学習の方法</td></tr>
<tr><td colspan="4">【授業の方法】
教科書に沿ってスピーチ､プレゼンテーションに利用できる表現を覚える。２回のプレゼンテーションの準備をする。
【授業計画】
第1回：Introduction
第2回～7回：DVD,CDを用いて教科書のUnit 1 ～ 6を進める。
第8回：Midterm Presentation
第9回～14回: DVD,CDを用いて教科書のUnit 7 ～ 12を進める。
第15回：Final Presentation
【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回以降：授業に積極的に参加し、期限内課題提出を厳守すること。</td></tr>
<tr><td colspan="4">教科書・参考書等
Morikawa, S / Harrington, L.　Global Connections　Communicative English with National Geographic Video.
NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING / CENGAGE Learning.　¥2,400＋Tax　ISBN: 978-1-305-58442-6</td></tr>
<tr><td colspan="4">オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。</td></tr>
<tr><td colspan="4">履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。</td></tr>
</table>

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041335) Communicative English ⅢT(12) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 田口　明美	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。 3. 身近なことについて英語で伝えることができる。	

成績評価の方法と基準

小テスト2回: 40%
授業への参加度: 20%
中間プレゼンテーション: 20%
期末プレゼンテーション: 20%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

1. ペア・ワークを多く取り入れてスピーキング能力の向上を目指します。
2. 第8回と15回にプレゼンテーションとディスカッションを行います。

【授業計画】

第1回: オリエンテーション
第2回～6回: 演習活動
第7回: 小テスト/演習活動
第8回: 中間プレゼンテーション＋ディスカッション
第9回～13回: 演習活動
第14回: 小テスト/演習活動
第15回: 期末プレゼンテーション＋ディスカッション

【授業外学習に関するアドバイス】

第1回: 事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨んで下さい。
第2回～7回: 小テスト及びプレゼンテーションに備えてください。
具体的な指示はネットワークを通して行います。
第9回～14回: 小テスト及びプレゼンテーションに備えてください。
具体的な指示はネットワークを通して行います。

教科書・参考書等

教科書: Andrew E. Bennett. English Listening and Speaking Patterns １. (2018) Nan'un-do,￥2000+税
ISBN:978-4-523-17842-2 C0082

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041336) Communicative English ⅢA(1) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期木3	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 ニコラス　ダニエル　フライ	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English　I/II	

学習時間　　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing). 3. Deliver 3-5 minute presentations in English.	

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:

In-class effort: 10%　Mid-term presentation: 30%　Final presentation: 60%

授業計画並びに授業及び学習の方法

[Course Method]

In- class activities will center on tasks in the textbook. Students will practice presentation skills with partners, in groups, and before the class, as well as prepare for mid-term and final presentations.

[Course Schedule]

Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions
Week 2-5: GRFS and speech practice.
Week 6-7: Mid-term presentations.
Week 8-12: GRFS and speech practice.
Week 13: Final presentations workshop.
Week 14-15: Final presentations.

[Suggestions for self-study]
Week 1-5: Students should complete assigned homework and prepare for mid-term presentations.
Week 6-7: Students should be prepared to deliver mid-term presentations.
Week 8-13: Students should complete assigned homework and prepare for final presentations.
Week 14-15: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

LeBeau, C.,& Harrington, D. Getting Ready for Speech ISBN: 1929274491

オフィスアワー　　Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041337) Communicative English ⅢA(2) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期木4	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 ニコラス　ダニエル　フライ	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English　I/II	

学習時間　　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing). 3. Deliver 3-5 minute presentations in English.	

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:

In-class effort: 10%　　Mid-term presentation: 30%　　Final presentation: 60%

授業計画並びに授業及び学習の方法

[Course Method]

In- class activities will center on tasks in the textbook. Students will practice presentation skills with partners, in groups, and before the class, as well as prepare for mid-term and final presentations.

[Course Schedule]

Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions
Week 2-5: GRFS and speech practice.
Week 6-7: Mid-term presentations.
Week 8-12: GRFS and speech practice.
Week 13: Final presentations workshop.
Week 14-15: Final presentations.

[Suggestions for self-study]
Week 1-5:　Students should complete assigned homework and prepare for mid-term presentations.
Week 6-7: Students should be prepared to deliver　mid-term presentations.
Week 8-13: Students should complete assigned homework and prepare for final presentations.
Week 14-15: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

LeBeau, C.,& Harrington, D. Getting Ready for Speech ISBN: 1929274491

オフィスアワー　　Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041338) Communicative English ⅢA(3) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期木3	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 長井　克己	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。 3. 英語で簡単なスピーチを行うことができる	

成績評価の方法と基準

中間と期末の２回，教科書のUnitから１つテーマを選び，２分間スピーチをする。
第１回目の授業で配布する Rubric（原稿棒読みをしない，声が大きい，聞きとりやすい，結論が明快，の４項目を５段階で２０点満点）を30/20倍して30点で採点。
評価は２回のスピーチ６０点＋毎週の活動40点。

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】
毎週スピーチに利用できる表現を練習し覚えていく。
２回のプレゼンテーションの準備をする。
【授業計画】
4/11 : introduction to the course / Getting Ready
4/18 : Good friend 1
4/25 : Good friend 2
5/ 9 : Favorite place 1
5/16 : Favorite place 2
5/23 : Prized possession 1
5/30 : Prized possession 2
6/ 6 : Speech 1
6/13 : Memorable experience 1
6/20 : Memorable experience 2
6/27 : I'll show you how 1
7/ 4 : I'll show you how 2
7/11 : Screen magic 1
7/18 : Screen magic 2
7/25 : Speech 2

【授業外学習に関するアドバイス】
出版社ウェブページでビデオや音声ファイルが利用できる。ダウンロードして持ち歩き，口に出して練習すること。
http://www.cambridge.org/gp/cambridgeenglish/catalog/skills/present-yourself-2nd-edition/resources

教科書・参考書等

Textbook: Present Yourself Level 1 Student's Book Experiences 2nd Edition,
ISBN 9781107435636. Cambridge U.P.

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041339) Communicative English ⅢA(4) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期木4	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 長井　克己	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。 3. 英語で簡単なスピーチを行うことができる	

成績評価の方法と基準

中間と期末の２回，教科書のUnitから１つテーマを選び，２分間スピーチをする。
第１回目の授業で配布する Rubric（原稿棒読みをしない，声が大きい，聞きとりやすい，結論が明快，の４項目を５段階で２０点満点）を30/20倍して30点で採点。
評価は２回のスピーチ６０点＋毎週の活動40点。

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】
毎週スピーチに利用できる表現を練習し覚えていく。
２回のプレゼンテーションの準備をする。
【授業計画】
4/11 : introduction to the course / Getting Ready
4/18 : Good friend 1
4/25 : Good friend 2
5/ 9 : Favorite place 1
5/16 : Favorite place 2
5/23 : Prized possession 1
5/30 : Prized possession 2
6/ 6 : Speech 1
6/13 : Memorable experience 1
6/20 : Memorable experience 2
6/27 : I'll show you how 1
7/ 4 : I'll show you how 2
7/11 : Screen magic 1
7/18 : Screen magic 2
7/25 : Speech 2

【授業外学習に関するアドバイス】
出版社ウェブページでビデオや音声ファイルが利用できる。ダウンロードして持ち歩き，口に出して練習すること。
http://www.cambridge.org/gp/cambridgeenglish/catalog/skills/present-yourself-2nd-edition/resources

教科書・参考書等

Textbook: Present Yourself Level 1 Student's Book Experiences 2nd Edition,
ISBN 9781107435636. Cambridge U.P.

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041340) Communicative English ⅢA(5) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期木3	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 大山　茂之	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English　I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。 3.身近なことについて英語で伝えることができる。	

成績評価の方法と基準

成績評価は以下の基準によって判定します。
（1）授業中の発表等　60%　（毎回の授業での発表や自発的な発言などをポイントに換算します。）
（2）期末テスト　40%　（指定されたトピックについて英語で簡単なプレゼンテーションをしてもらう予定です。）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

日英通訳者のトレーニングに使われる通訳訓練法の一部を使って、日英・英日コミュニケーション能力を段階的に強化します。
毎回、クイックリスポンス練習によって「口に出して使える語彙」を増やし、シャドーイング等の練習を通じて英語を十分インプットした後、日本語から英語に、また英語から日本語にスピーディーに変換できる能力を養います。

【授業計画】

第1回～第15回　基本的にテキストのユニットに従って進めます。
口頭発表による試験（第16回）

【授業外学習に関するアドバイス】

第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回～第15回：予習と復習を行うこと。

教科書・参考書等

越智 美江 (2010). 「TOEIC150点アップを目指す 通訳訓練法」 大阪教育図書, 1,900円(税別). ISBN 978-4-271-11326-3

オフィスアワー　　授業時に決定します。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041341) Communicative English ⅢA(6) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期木4	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 大山　茂之	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English　I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。 3.身近なことについて英語で伝えることができる。	

成績評価の方法と基準

成績評価は以下の基準によって判定します。
（1）授業中の発表等　60%　（毎回の授業での発表や自発的な発言などをポイントに換算します。）
（2）期末テスト　40%　（個人またはグループで、指定されたトピックについて英語で簡単なプレゼンテーションをしてもらう予定です。）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】
日英通訳者のトレーニングに使われる通訳訓練法の一部を使って、日英・英日コミュニケーション能力を段階的に強化します。
毎回、クイックリスポンス練習によって「口に出して使える語彙」を増やし、シャドーイング等の練習を通じて英語を十分インプットした後、日本語から英語に、また英語から日本語にスピーディーに変換できる能力を養います。

【授業計画】
第1回～第15回　基本的にテキストのユニットに従って進めます。
口頭発表による試験（第16回）

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回～第14回：予習と復習を行うこと。
第15回：プレゼンテーション。指示に従って計画的に準備しておくこと。

教科書・参考書等

越智 美江 (2010). 「TOEIC150点アップを目指す 通訳訓練法」 大阪教育図書, 1,900円(税別). ISBN 978-4-271-11326-3

オフィスアワー　　授業時に決定します。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041342) Communicative English ⅢED(12) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 瀬良　和彦	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English　I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。 3. 身近なことについて英語で伝えることができる。	

成績評価の方法と基準

平常点６０％（出席、欠席、遅刻、居眠り、忘れ物、授業への参加度［予習、復習、授業中の活動など]、小テスト、提出物)、および期末試験４０％。授業出席者の能力、授業の進度なども考慮し、総合的に評価する。

授業計画並びに授業及び学習の方法

【【授業の方法】

教科書は、予習などに基づき、各回１章ずつ進む予定である。
ただし、授業の出席者の能力や授業の進度により、変動する。
毎回、適宜補助プリントを使用する。

【授業計画】

第１回：オリエンテーション
第２回～第１５回：演習活動、小テスト
第１６回：期末テスト

【授業外学習に関するアドバイス】

事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。

教科書・参考書等

國弘正雄、千田潤一監修『英会話・ぜったい音読・続入門編』講談社インターナショナル、2014年、￥1,200+税、ISBN978-4-7700-2524-1

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041344) Communicative English ⅢM(1) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金1	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English　I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。 3. プレゼンテーションソフトを用いて５分間程度の発表を行うことができる。	

成績評価の方法と基準

クイズ、授業参加、課題、２回のプレゼンテーションを評価します。

Quiz：20%　　In-class effort：30%　　Midterm presentation：20%　　Final presentation：30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

教科書の内容を理解し、スピーチ、プレゼンテーションに利用できる表現を覚える。２回のプレゼンテーションの準備をする。

【授業計画】

第1回：Introduction

第2回～7回：CDを用いながら教科書 UNIT 1～7を進める。

第8回：Midterm Presentation

第9回～14回：CDを用いながら教科書　UNIT 8～13を進める。

第15回：Final Presentation

【授業外学習に関するアドバイス】

第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。

第2回以降：積極的に授業に参加し、期限内課題提出を厳守すること。

教科書・参考書等

Liu, J. / Harper,K.　COMMUNICATION STRATEGIES 4.　CENGAGE Learning.　ISBN: 978-981-4232-67-8
981-4232-67-X

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041345) Communicative English ⅢM(2) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金1	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 David Billa	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　Academic English I/II		

学習時間　　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing). 3. Speak about personal topics in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.	

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
- Assignments: 20%
- In-class effort: 30%
- Mid-term presentation: 20%
- Final presentation: 30%

(a score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class)

授業計画並びに授業及び学習の方法

[Course Method]

Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]

Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions
Week 2-6: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 7-8: Mid-term presentations.
Week 9-13: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 14: Final presentation workshop.
Week 15-16: Final presentations.

[Suggestions for self-study]

Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-14: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 3-5: Students should also prepare for mid-term presentations.
Week 12-14: Students should also prepare for final presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations.

教科書・参考書等

Present Yourself Level 2 by Gershon, S.- Cambridge University Press (2015) - 2015 - ISBN: 978-1-107-43578-0

オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041346) Communicative English ⅢM(3) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金1	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 長井　克己	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語で３分間，話し続けることができる。 2. 医療に関するテーマについて，自分の意見を英語で伝え，質問に答えることができる。	

成績評価の方法と基準

(1) 3-minute speech (20%)
(2) Q&A on newspaper articles (20%)
(3) Exam 1 (30%) and Exam 2 (30%)

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の□法】

(1) Speech in 3 minutes on newspaper articles, (2) Q&Aとコメント作成,
(3) 教科書を用いた Shadowing / Role-play 演習
スピーチへのコメント提出を出席確認とするので注意。

【授業計画】

4/12 : ニュース記事速読, part 1 (all)
4/19 : part 2, ch 1-2, news 1
4/26 : ch 3-4, news 2
5/10 : ch 5-6, news 3
5/17 : ch 7-9, news 4
5/24 : ch 10-11, news 5
6/ 7 : tutorial, exam 1 (part 2, ch 1-11)
6/14 : ch 12-13, news 6
6/21 : ch 14-15, news 7
6/28 : ch 16-17, news 8
7/ 5 : ch 18-19, news 9
7/12 : ch 20-21, news 10
7/19 : ch 22-23, news 11
7/26 : exam 2 (part 2, ch 12-23), follow-up

【□学□習に関するアドバイス】

スピーチ□ハンドアウトを学籍番号(Mの入った番号).pdfとして作成し，前□正午までにメール添付で提出すること。

教科書 Part 1 は易しすぎるので授業では扱わないが，Part 1 の Ch. 0-3 を中間試験の，Ch. 4-8 を期末試験の，それぞれの試験範囲の一部（３点程度）とするので見ておくこと。Part 2 部分の録音を繰り返し聞き，□と□で語彙を増やすこと。

教科書・参考書等

教科書：　正しく診断するための 医師の診療英会話.
ナツメ社. 978-4816358142.
スピーチの題材となるニュースは，１回目の授業で印刷物配布.

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し内容を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041347) Communicative English ⅢM(4) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金1	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 ﾏｸﾗﾊﾝ･ｼﾞｪﾗﾃﾞｨｰﾝ	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English I/II	

学習時間　　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing). 3. Deliver 3-5-minute multi-media presentations in English.	

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Mini-presentation 1: 10%
Mini-presentation 2: 10%
Mid-term presentation: 30%
Mini-presentation 3: 10%
Mini-presentation 4: 10%
Final presentation: 30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.
[Course Schedule] Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Students should be prepared to introduce themselves in English in front of the class.
Week 2: Chapter 1 - A person I admire: Learning how to make effective notecards, and good eye contact
Week 3: Chapter 1 - A person I admire: Learning how to start and end presentations; Mini-presentation 1
Week 4: Chapter 2 - A great vacation: Using PowerPoint, Using gestures
Week 5: Chapter 2 - A great vacation: Learning about body language; Mini-presentation 2
Week 6: Chapter 3 - Young people Today: Making and using effective visual aids, using statistics; Mid-term topic assigned
Week 7: Chapter 3 - Young people today: Learning how to emphasize important information
Week 8: Mid-term presentation
Week 9: Chapter 4 - Let me explain: Explaining a process
Week 10: Chapter 4 - Mini presentation 3
Week 11:Chapter 5 - In my opinion: Giving a persuasive presentation; Using your voice effectively; Final presentation topic assigned.
Week 12: Chapter 5 - In my opinion: Mini-presentation 4
Week 13: Chapter 6 - In the News: Summarizing a news story; Final presentation preparation/workshop
Week 14-15: Final presentations

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-7: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 8: Midterm-presentations
Week 9-13: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 14-15: Final presentations

教科書・参考書等 Present Yourself 2, 2nd edition by Steven Gershon. Cambridge (2015). ISBN: 978-1-107-4358-0 ¥2916
オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041348) Communicative English ⅢNP(1) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金2	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 ﾏｸﾗﾊﾝ･ｼﾞｪﾗﾃﾞｨｰﾝ	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English I/II	

学習時間　　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing). 3 Deliver 3-5-minute multi-media presentations in English.	

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Mini-presentation 1: 10%
Mini-presentation 2: 10%
Mid-term presentation: 30%
Mini-presentation 3: 10%
Mini-presentation 4: 10%
Final presentation: 30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.
[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Students should be prepared to introduce themselves in English in front of the class.
Week 2: Chapter 1 - A person I admire: Learning how to make effective notecards, and good eye contact
Week 3: Chapter 1 - A person I admire: Learning how to start and end presentations; Mini-presentation 1
Week 4: Chapter 2 - A great vacation: Using PowerPoint, Using gestures
Week 5: Chapter 2 - A great vacation: Learning about body language; Mini-presentation 2
Week 6: Chapter 3 - Young people Today: Making and using effective visual aids, using statistics; Mid-term topic assigned
Week 7: Chapter 3 - Young people today: Learning how to emphasize important information
Week 8: Mid-term presentation
Week 9: Chapter 4 - Let me explain: Explaining a process
Week 10: Chapter 4 - Mini presentation 3
Week 11:Chapter 5 - In my opinion: Giving a persuasive presentation; Using your voice effectively; Final presentation topic assigned.
Week 12: Chapter 5 - In my opinion: Mini-presentation 4
Week 13: Chapter 6 - In the News: Summarizing a news story; Final presentation preparation/workshop
Week 14-15: Final presentations

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-7: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 8: Midterm-presentations

Week 9-13: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class. Week 14-15: Final presentations
教科書・参考書等 Present Yourself 2, 2nd edition by Steven Gershon. Cambridge (2015). ISBN: 978-1-107-4358-0 ¥2916
オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041349) Communicative English ⅢNP(2) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金2	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 長井　克己	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。 3. 英語で簡単なスピーチを行うことができる	

成績評価の方法と基準

中間と期末の２回，教科書のUnitから１つテーマを選び，２分間スピーチをする。
第１回目の授業で配布する Rubric（原稿棒読みをしない，声が大きい，聞きとりやすい，結論が明快，の４項目を５段階で２０点満点）を30/20倍して30点で採点。
評価は２回のスピーチ６０点＋毎週の活動40点。

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】
毎週スピーチに利用できる表現を練習し覚えていく。
２回のプレゼンテーションの準備をする。
【授業計画】
4/12 : introduction to the course / Getting Ready
4/19 : Good friend 1
4/26 : Good friend 2
5/10 : Favorite place 1
5/17 : Favorite place 2
5/24 : Prized possession 1
5/31 : Prized possession 2
6/ 7 : Speech 1
6/14 : Memorable experience 1
6/21 : Memorable experience 2
6/28 : I'll show you how 1
7/ 5 : I'll show you how 2
7/12 : Screen magic 1
7/19 : Screen magic 2
7/26 : Speech 2
【授業外学習に関するアドバイス】
出版社ウェブページでビデオや音声ファイルが利用できる。ダウンロードして持ち歩き，口に出して練習すること。
http://www.cambridge.org/gp/cambridgeenglish/catalog/skills/present-yourself-2nd-edition/resources

教科書・参考書等

Textbook: Present Yourself Level 1 Student's Book Experiences 2nd Edition,
ISBN 9781107435636. Cambridge U.P.

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041350) Communicative English ⅢNP(3) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金2	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 吉川　友子	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English　I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）＋期末発表

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。 3. 身近なことについて英語で２分間程度のまとまった内容を伝えることができる。	

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　　In-class effort：20%　　Midterm paper：30%　　Final paper：30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】テキストに沿って、アイコンタクトやジェスチャーなどの非言語ツールを重視しつつ英語によるプレゼンテーションのしかたを学習します。基本的に授業１回で１ユニット進め、具体的な表現練習を重ね、まとまった内容を話すことへと発展させていきます。

【授業計画】
第１回：オリエンテーション、ユニット１
第２回～第７回：演習活動（ユニット２～７）
第８回：中間発表
第９回～第１５回：演習活動（ユニット８～１４）
第１６回：期末発表

【授業外学習に関するアドバイス】
・予習復習の具体的な内容については、毎回の授業で指示する。最低２回の課題提出と頻繁な小テストも評価に含まれることに注意すること。
・第８回および第16回には評価のためのプレゼンテーション（発表）を課す。具体的な指示は直前の授業で行うので、計画的に準備しておくこと。

教科書・参考書等

本名信行, 竹下裕子, Allan, Anthony. (2018) This is My Presentation! （動画を活用する英語プレゼンテーションの基礎） 桐原書店 2,300円＋税（税込2,484円）
ISBN: 978-4-342-55012-6

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

<table>
<tr><td rowspan="3">ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1
授業科目名　　(時間割コード：041351)
Communicative English ⅢNP(4)
Communicative English Ⅲ
Communicative English III</td><td>科目区分
コミュニケーション科目</td><td>時間割
前期金2</td><td>対象年次及び学科
2～全学共通科目</td></tr>
<tr><td>水準・分野
B2ENG</td><td>DP・提供部局
abxG</td><td>対象学生・特定プログラムとの対応
1N</td></tr>
<tr><td>授業形態
Ex</td><td>単位数
1</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">担当教員名
ウィリアムズ　厚子</td><td colspan="3">関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義</td></tr>
<tr><td colspan="3">履修推奨科目　　Academic English　I/II</td></tr>
<tr><td colspan="4">学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業の概要
幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業の目的
この授業は、英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。</td></tr>
<tr><td colspan="3">到達目標</td><td>学習・教育到達目標
(工学部JABEE基準)</td></tr>
<tr><td colspan="3">1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 英語で３分間程度のスピーチを行うことができる。</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">成績評価の方法と基準
クイズ、授業参加、課題、２回のプレゼンテーションを評価します。
Quiz：20%　　In-class effort：30%　　Midterm presentation：20%　　Final presentation：30%</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業計画並びに授業及び学習の方法</td></tr>
<tr><td colspan="4">【授業の方法】
教科書に沿ってスピーチ､プレゼンテーションに利用できる表現を覚える。２回のプレゼンテーションの準備をする。
【授業計画】
第1回：Introduction
第2回～7回：DVD,CDを用いて教科書のUnit 1 ～ 6を進める。
第8回：Midterm Presentation
第9回～14回: DVD,CDを用いて教科書のUnit 7 ～ 12を進める。
第15回：Final Presentation
【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回以降：授業に積極的に参加し、期限内課題提出を厳守すること。</td></tr>
<tr><td colspan="4">教科書・参考書等
Morikawa, S./ Harrington, L.　Global Connections　Communicative English with National Geographic Video.
NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING / CENGAGE Learning.　　¥2,400＋Tax　　ISBN: 978-1-305-58442-6</td></tr>
<tr><td colspan="4">オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。</td></tr>
<tr><td colspan="4">履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。</td></tr>
</table>

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041401) Communicative English ⅣLJ(1) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期水1	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 ニコラス　ダニエル　フライ	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English　I/II	

学習時間　　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills.　This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills.　The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences. 3. Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately 100-word journal entries each week.	

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 10%　　Mid-term essay: 30%　　Final essay: 60%

授業計画並びに授業及び学習の方法

[Course Method]
Each class will center on a writing task in the textbook (e.g., business letters, responses to invitaions, etc.) Writing will be done in class and assigned as homework. Completed writing assignments will be used for group activities and other communicative tasks. Class will be conducued exclusivly in English in order to develop students' overall English skills.

[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions
Week 2-7: Begin Writing for the Real World (WRW); writing tasks
Week 8: Mid-term test
Week 9-15: Writing tasks
Week 16: Final test.

[Suggestions for self-study]
Week 1-14: Complete homework from the textbook and other writing assignments.

教科書・参考書等

Barnard, R., & Zemach, D. (2005). Writing for the Real World 1. Oxford: Oxford University Press. ISBN 978-0194538145.

オフィスアワー　　Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041402) Communicative English ⅣLJ(2) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期水1	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 Gudelia Garcia Fernandez Maria	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　Academic English I/II		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences. 3. Write English essays of approximately 450 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately 300-word journal entries each week.	

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Quizzes: 20%　In-class effort: 30%　Mid-term essay: 20%　Final essay: 30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.
[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions
[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should complete assigned homework and writing assignments.
* Essays will be collected during weeks 7 and 15. Topics and directions will be provided in class/

教科書・参考書等

Writing from Within Level 1 Student's Book by Curtis Kelly and Arlen Gargagliano

オフィスアワー　Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041403) Communicative English ⅣLJ(3) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期水1	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English　I/II	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences. 3. Write English essays of approximately 300 words; complete written homework assignments; summarize reading and listening passages.	

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In class effort: 30%
midterm exam: 20%
Homework/assignments: 30%
final exam: 20%

授業計画並びに授業及び学習の方法

Each class will center around a written task from the textbook as well as supplementary materials. (e.g. sending letters, work emails and so forth. Completed assignments will be used for group analysis and activities. Class will be conducted in English to develop students' English skills. Students will be set weekly writing tasks for homework.

Week 1: Students casually introduce themselves to their teacher and classmates.
Week 2 ~ 4: Units will be taught from the textbook covering topics such as appropriate email ettiquette, filling out forms and business letters.
Week 5 ~ 6: preparation for and submission of midterm report.
Week 7 ~ 14: Continue to work through textbook: topics such as arranging meetings, writing descriptions, sending postcards and invitations.
Week 15 - 16: Final report preparation and submission.

教科書・参考書等

Writing for the Real World: An introduction to General writing, by Roger Barnard and Dorothy E Zemach. Published by Oxford University Press.
Student book ISBN 978-0-19-453814-5　￥2,847

オフィスアワー　　In class

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041404) Communicative English ⅣLJ(4) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期水1	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 ポール・バテン	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English　I/II	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。 3. プレゼンテーションソフトを用いて５分間程度の発表を行うことができる。	

成績評価の方法と基準

quizzes: 20%, in-class effort: 30%, mid-term assignment: 20%, final assignment: 30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

This class will focus on writing but with a strong emphasis on pair and group work on tasks in class. By checking together to produce a written text, students will be encouraged and will learn better. The tasks in the text cover a variety of topics and introduce students to a good range of writing skills in English. Work together in class to write the task in the chapter.

【授業計画】

1. The simple mechanics of writing
2. Thank you notes
3. Postcards and other cards
4. E-mail
5. Filling in forms
6. Directions
7. Mid-term check, review, questions.
8. Descriptions
9. Letters
10. Business letters
11. Letter of self-introduction
12. Diary
13. Journal
14. Review, questions
15. Final review, check

【授業外学習に関するアドバイス】

第１回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第１～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
その他：英語で書いたエッセイを７回目と15回目に提出してもらう予定である。タイトル等の指示は授業内で行う。計画的に準備しておくこと。

教科書・参考書等

Writing for the Real World. Student Book 1. By Roger Barnard and Dorothy E Rematch. Oxford. ISBN 978-0-19-453814-5

オフィスアワー　　月曜日、4:00、 教育学部８号館４F
事前に連絡してください。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041405) Communicative English ⅣLJ(5) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期水1	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 David Billa	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English I/II	

学習時間　　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences. 3. Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately one-page long journal entries each week.	

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following criteria:
- Attendance and in-class effort: 30%
- Journals: 30%
- Written Assignments: 40%

(a score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class)

授業計画並びに授業及び学習の方法

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week1: Studens should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions
Week 2-15: Students should write journal entries and complete assignments.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should complete assigned homework and writing assignments. Journal entries must be written every week. Journals will be collected three times during the semester.

教科書・参考書等

Writing from Within 1, Second Edition by Kelly, C. & Gargagliano, A. Cambridge University Press (2011) - ISBN: 978-0-521-18827-2

オフィスアワー　　Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041406) Communicative English ⅣLJ(6) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期水1	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 中西　ウェンディリー	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Advanced English I/II	

学習時間　Class meetings and preparation time per week:　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills.　This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills.　The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1.Find the confidence and ability to write long journal entries in English. 2.Write E-mails in English. 3.Write invitations and refusals of invitations in English. 4.Write greeting cards and postcards in English. 5.Complete application forms and application letters in English.	

成績評価の方法と基準

Attendance:30%　In-class effort:30%　Jouenals:20%　Completed text exercises:20%

授業計画並びに授業及び学習の方法

Week One: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content; seating chart; casual self introductions.

Weeks Two - Fifteen:　Students should write journal entries and complete textbook assignments.

Weeks Seven and Fourteen: Students should be prepared to submit journals for assessments.

Week Sixteen: While students are completing an in-class essay, their textbooks will be assessed.

Suggestions for self-study: outside class, students need to keep an English vocabulary notebook and, each week, write at least 15 unfamiliar English words and phrases in it.

教科書・参考書等

Writing Plus: Practical English Writing Skills for University and College, by Alan Jackson, Kinseido Publishers.
Student Book:ISBN 978-4-7647-3803-4

オフィスアワー　Students should consult with the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。欠席回数が４回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻を３回すると欠席１回となります。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041407) Communicative English ⅣLJ(7) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期水1	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 HILL STEPHEN MICHAEL RICHARD	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　Academic English　I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。 3. 英語で300語程度のエッセイを書くことができる。	

成績評価の方法と基準

In-class effort:30%
Writing assignments: 70%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

Each class will center on a writing task in the textbook (e.g., business letters, responses to invitations, etc.) Writing will be done in class and assigned as homework. Completed writing assignments will be used for group activities and other communicative tasks. Class will be conducted exclusively in English in order to develop students' overall English skills.

【授業計画】

Week 1: Introductions; Begin Writing for the Real World (WRW)
Week 2-15: WRW and writing tasks

教科書・参考書等

Writing for the Real World 1 Bernard, R. OUP (2004) ISBN: 978-0-19-453814-5 ¥2,800

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041408) Communicative English ⅣLJ(8) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期水1	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 瀬良　和彦	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English　I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。 3.モデルとして提示されたセンテンスの意味と文構造を理解することができる。	

成績評価の方法と基準

授業への参加度（予習、復習、授業中の活動など)、小テスト、期末試験の結果などに基づいて、総合的に評価をする。平常点（出席、活動、小テストほか）６０%、期末テスト４０%（未受験の場合は単位を認定しない)。ただし、授業出席者の能力、授業の進度などにより、若干の変動がある。尚、最終課題提出の有無は、期末テストを除く成績による（欠席回数４回以上の人およびそれに準ずる人は除外)。

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

教科書は、予習などに基づき、各回１章ずつ進む予定である。
ただし、授業の出席者の能力や授業の進度により、変動する。
毎回、適宜補助プリントを使用する。

【授業計画】

第１回：オリエンテーション
第２回～第１５回：演習活動、小テスト（適宜）
第１６回：期末テスト

【授業外学習に関するアドバイス】

事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
その他：適宜小テストを行うので、復習しておくこと。小テストを行う際には前週に通知します。

教科書・参考書等

Nagasaka,N. & Robson,G. (2008). Keystone -Grammar-based English Writing-　基本英文から現代英語表現へ. Seibido. ￥1,900+税. ISBN978-4-7919-1292-6

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041410) Communicative English ⅣLJ(10) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期水1	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 中住　幸治	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English　I / II	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。 3. 見本（モデル）を参考にして英語で150語程度のエッセイを書くことができる。	

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　　In-class effort/homework：30%　　Essays：50%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】基本的にテキストに沿って授業を行います。Brainstorming→organization→drafting→Editing→Feedback、という流れでエッセイを書いてもらいます。

【授業計画】

第1週：オリエンテーション

第2~3週：Unit 1（演習活動・エッセイ作成），第4~5週：Unit 2（演習活動・エッセイ作成）

第6～7週：Unit 3（演習活動・エッセイ作成），第8～9週：Unit 4（演習活動・エッセイ作成）

第10～11週：Unit 5（演習活動・エッセイ作成），第12～13週：Unit 6（演習活動・エッセイ作成）

第14～15週：Unit 7（演習活動・エッセイ作成）

【授業外学習に関するアドバイス】

授業担当者の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨んで下さい。また課題の提出期限も厳守して下さい。エッセイのタイトル等の指示は授業内で行います。

教科書・参考書等

Kelly, C. & Gargagliano, A. (2011). Writing from Within 1 Second Edition. Cambridge University Press. ￥2,680+税, ISBN: 9780521188272

オフィスアワー　　木曜日　12:30~13:30 幸町キャンパス北5号館5階　中住研究室

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041411) Communicative English ⅣLJ(11) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期水1	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 永尾　麻美	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English　I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。	

成績評価の方法と基準

In-class efforts: 50%

Final examination: 50%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

英文を作成する際の、辞書の使い方を説明する。さまざまなトピックについて英文を作成する。

【授業計画】

第1回：ガイダンス

第2回～15回：演習活動

第16回：Final examination

【授業外学習に関するアドバイス】

スマートフォンの無料翻訳アプリケーションの使用には注意。いい加減な翻訳多。

教科書・参考書等

不要。

オフィスアワー　　授業時に発表します。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

欠席回数が４回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻を３回すると欠席１回となります。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041412) Communicative English ⅣLJ(12) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期水1	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 木戸口　英樹	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English　I/II	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。 3. 自分の考えを伝えていくために必要な英語表現を身につける。そして実践的なライティング力養成へと発展させる。	

成績評価の方法と基準

課題作文提出７回（６５%)、 最終試験（２５%)、出席・学習意欲（１０%）で
評価します。

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

英文を書くためには，推敲や論理性が求められます。文の展開に必要な論理性とは何かを毎回の教材に従って身につけます。学期末の試験を行います。

【授業計画】

第１回：イントロダクション：事前に教科書を購入し内容を確認してから授業に臨むこと。
第２回～第１５回：テキストの内容,与えられたテーマに沿って英文を７回書く。
第16回：学期末テスト

【授業外学習に関するアドバイス】

英語でのエッセイは、最初は簡単なものから徐々にレベルを上げていきますので
決して難しいものではありません。自宅で時間をかけて書くことが重要です。

教科書・参考書等

Keystone Grammar-based English Writing
Noboru Nagasaka, Gordon Robson,Seibido, 2013, ￥2,052 (Tax included), ISBN 978-4-7919-1292-6

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定します。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041413) Communicative English ⅣED(1) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 森川　光与	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English　I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。 3. 読解や聴解によって理解した内容を平易な英語で要約することができる。 4. 限られた時間の中で、英語で200語程度の文章を辞書を使わずに書くことができる	

成績評価の方法と基準

Quiz/Homework：25%　　In-class effort：25%　　Midterm paper：20%　　Final Exam/Paper：30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】社会人として求められる英語のライティング力を磨くため、様々なシチュエーションのライティングを練習します。

【授業計画】

第１回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。

第1～15回目：指定の教科書とその他補足資料を使ったライティング中心の授業。7，8回目あたりに中間試験を実施します。詳細および日程はクラスでお伝えします。

期末試験期間：期末試験を実施

教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。

その他：英語で書いたエッセイを数回提出してもらう予定です。タイトル等の指示は授業内で行います。

【授業外学習に関するアドバイス】

ライティングの基礎力にはリーディングが不可欠です。英語の読み物に触れることを意識しましょう。

教科書・参考書等

Barnard, R., & Zemach, R. (2005). Writing for the Real World 1. Oxford University Press.

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。欠席回数が3回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻を3回すると欠席1回となります。遅刻は授業開始から15分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041414) Communicative English ⅣED(2) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 HILL STEPHEN MICHAEL RICHARD	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　Academic English　I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。 3. 英語で300語程度のエッセイを書くことができる。	

成績評価の方法と基準

In-class effort:30%
Writing assignments: 70%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

Each class will center on a writing task in the textbook. Writing will be done in class and assigned as homework. Completed writing assignments will be used for group activities and other communicative tasks. Class will be conducted exclusively in English in order to develop students' overall English skills.

【授業計画】

Week 1: Introductions and orientation
Week 2-15: WRW and writing tasks

教科書・参考書等

Writing for the Real World 2: An Introduction to Business Writing. Bernard, R & Meehan, A.. OUP (2005)
ISBN:978-0-19-453817-6 ¥3,032

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041415) Communicative English ⅣED(3) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 中住　幸治	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English　I / II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。 3. 英語で400語程度のエッセイを書くことができる。	

成績評価の方法と基準

Quizzes：20%　　In-class effort/homework：20%　　Essays：60%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】基本的にテキストに沿って授業を行います。英語の読み物やビデオに基づく演習活動・エッセイ原稿作成・エッセイの完成、という流れで5つのエッセイを書いてもらいます。

【授業計画】

第1~3週：オリエンテーション・Unit 1（演習活動・エッセイ作成）
第4~6週：Unit 2（演習活動・エッセイ作成）
第7～9週：Unit 3（演習活動・エッセイ作成）
第10～12週：Unit 4（演習活動・エッセイ作成）
第13～15週：Unit 5（演習活動・エッセイ作成）

【授業外学習に関するアドバイス】

授業担当者の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨んで下さい。また課題の提出期限も厳守して下さい。エッセイのタイトル等の指示は授業内で行います。

教科書・参考書等

Vargo, M. & Blass, L. (2013). Pathways Reading, Writing and Critical Thinking 1A (1st edition). Cengage Learning. ¥2,550+税, ISBN:978-1-285-45246-3

オフィスアワー　　授木曜日　12:30~13:30 幸町キャンパス北5号館5階　中住研究室

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041416) Communicative English ⅣED(4) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 木戸口　英樹	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English　I/II	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。 3. 自分の考えを伝えていくために必要な英語表現を身につける。そして実践的なライティング力養成へと発展させる。	

成績評価の方法と基準

課題作文提出７回（６５%)、 最終試験（２５%)、出席・学習意欲（１０%）で
評価します。

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

英文を書くためには，推敲や論理性が求められます。文の展開に必要な論理性とは何かを毎回の教材に従って身につけます。学期末の試験を行います。

【授業計画】

第１回：イントロダクション：事前に教科書を購入し内容を確認してから授業に臨むこと。
第２回～第１５回：テキストの内容,与えられたテーマに沿って英文を７回書く。
第16回：学期末テスト

教科書・参考書等

Keystone Grammar-based English Writing
Noboru Nagasaka, Gordon Robson,
Seibido, 2013, ￥2,052 (Tax included), ISBN 978-4-7919-1292-6

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定します。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041417) Communicative English ⅣED(5) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 小西　廣司	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English　I / II	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。 3. 読解や聴解によって理解した内容を平易な英語で要約することができる。	

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。
小テスト・授業への参加度（提出物・予習・復習等を含む）：40%
中間試験：30%
期末試験：30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】
テキストに沿って学習していきます。英文を書く際、英語コミュニケーション能力を付ける観点から学習を深め、実践的練習によりナチュラルな英文作成へと発展させていきます。基本的に、授業1回あたり1レッスンを進みます。
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回 - 第15回：テキストを使用しての演習活動。
中間・期末試験
【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨んでください。
第1回 - 第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨んでください。
その他：自宅で予習・復習をする際、英和・和英辞典ではなく英英辞典を使用してください（購入等の具体的なことは第1回目の授業で説明します)。英英辞典が内臓されている電子辞書や、インターネット上で無料で使用できる英英辞典を使用するのでもかまいませんが､テストで辞書持ち込みが許可される場合は紙媒体の英英辞典しか持ち込みは許可されません。

教科書・参考書等

Barnard, R. & Meehan, A. (2019). Writing for the Real World Level 2. Oxford University Press. 3,035円

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041418) Communicative English ⅣED(6) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 篠原　範子	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English　I/II	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。 3. メールなど実生活で必要なライティングの技能と知識を身につける。	

成績評価の方法と基準

- Attendance and in-class effort: 30%
- Journals: 20%
- Written Assignments: 30%
- Final Essay: 20%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

テキストに従って行います。

【授業計画】

第１回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。

第2～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。

【授業外学習に関するアドバイス】

授業中に使用するノートを一冊用意してください（ルーズリーフ不可)。

教科書・参考書等

Kelly, C. & Gargagliano, A. (2011). Writing from Within 1, Second Edition. Cambridge.
ISBN: 978-0-521-18827-2

オフィスアワー　　必要な場合は授業時間の時に。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041419) Communicative English ⅣED(7) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 竹中　千鶴	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English　I / II	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。 3. 実生活の中で書かれるさまざまなタイプの英文について、形式上の決まり事、また求められる丁寧さの度合いについて理解し、適切な英文が書けるようになる。 ４．英語で200語程度のジャーナルを書くことができる。	

成績評価の方法と基準

小テスト：20%
平常点：30%
中間テスト：20%
期末テスト：30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】テキストに添って課題をこなしていくことが基本であるが、各自が英文を予め書いてきて、クラスメートに読んでもらったり、あるいは自ら音読して聞いてもらったりするなど、ただ書くだけではなく、読む、聞く、話す活動も取り入れる予定である。
授業中はペア活動、グループ活動をできるだけ行う。

【授業計画】

第1回　　オリエンテーション
第2回～第6回　Unit　2～　Unit　7
第7回　　中間テスト
第8回～第15回　Unit8　～Unit　15
第16回　　期末テスト

【授業外学習に関するアドバイス】

第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第1～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
辞書を持参すること、また、授業用のノートを準備すること。

教科書・参考書等

Barnard, R. & Zemach, R. (2005). Writing for the Real World. Oxford University Press. ISBN: 978-0-19-453814-5

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041420) Communicative English ⅣED(8) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 ﾏｸﾗﾊﾝ･ｼﾞｪﾗﾃﾞｨｰﾝ	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English I/II	

学習時間　　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences. 3. Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately [number]-word journal entries each week.	

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 40%
Mid-term test: 30%
Final test: 30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.
[Course Schedule]
Week1: Studens should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions
Week 2: Writing informal letters and e-mail: Letters of self-introduction
Week 3: Writing informal letters and e-mail: Writing a "thank you" letter
Week 4: Writing informal letters and e-mail: Asking questions in letters
Week 5: Writing informal letters and e-mail: Making invitations
Week 6: Writing informal letters and e-mail: Giving directions
Week 7: Writing informal letters and e-mail: Writing about a vacation
Week 8: Mid-term test
Week 9: Writing formal letters and e-mail: Making and changing reservations
Week 10:Writing formal letters and e-mail: Filling in forms, Requesting information
Week 11: Writing formal letters and e-mail: Dealing with problems
Week 12:Writing formal letters and e-mail: Writing letters of complaint
Week 13:Writing formal letters and e-mail: Applying for a job
Week 14:Writing formal letters and e-mail: Applying for a job
Week 15: Review

[Suggestions for self-study] [Please explain how students will use their time outside of class. An example is given below. The instructor may modify this example according to her/his own plan.]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should complete assigned homework and writing assignments.

教科書・参考書等

Writing for the Real World 1 by Roger Barnard & Dorothy E. Zemach Oxford University Press (2009) ISBN: 978-0-19-453814-5　¥3200

オフィスアワー　　Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041421) Communicative English ⅣED(9) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 瀬良　和彦	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English　I / II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。 3.モデルとして提示されたセンテンスの意味と文構造を理解することができる。	

成績評価の方法と基準

授業への参加度（予習、復習、授業中の活動など)、小テスト、期末試験の結果などに基づいて、総合的に評価をする。平常点（出席、活動、小テストほか）６０%、期末テスト４０%（未受験の場合は単位を認定しない)。ただし、授業出席者の能力、授業の進度などにより、若干の変動がある。尚、最終課題提出の有無は、期末テストを除く成績による（欠席回数４回以上の人およびそれに準ずる人は除外)。

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

教科書は、予習などに基づき、各回１章ずつ進む予定である。
ただし、授業の出席者の能力や授業の進度により、変動する。
毎回、適宜補助プリントを使用する。

【授業計画】

第１回：オリエンテーション
第２回～第１５回：演習活動、小テスト（適宜）
第１６回：期末テスト

【授業外学習に関するアドバイス】

事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
その他：適宜小テストを行うので、復習しておくこと。小テストを行う際には前週に通知します。。

教科書・参考書等

Nagasaka,N. & Robson,G. (2008). Keystone -Grammar-based English Writing-　基本英文から現代英語表現へ. Seibido. ￥1,900+税. ISBN978-4-7919-1292-6

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041422) Communicative English ⅣED(10) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 鳥越　秀知	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English　I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。 3. モデルとして提示されたセンテンスを利用して、自分の文を生成することができる。	

成績評価の方法と基準

In-class effort：30%　Assignment: 20%　Exam: 50%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

主として，テキストに沿って授業を行います。授業で学んだことを利用して，２つのエッセイを書きます。エッセイのトピックは授業内で提示します。

【授業計画】

第１回目：オリエンテーション
第２回目～第６回目：テキストを使用しての演習活動
第７回目：エッセイ作成
第８回目～第12回目：テキストを使用しての演習活動
第13回目：エッセイ作成
第14回目～第15回目：テキストを使用しての演習活動

教科書・参考書等

主テキスト　石谷由美子、エマ（2008）　Skills for Better Writing. 南雲堂.　ISBN: 978-4-5231-7604-6

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上，日時を決定してください。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041423) Communicative English ⅣED(11) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 太田　眞理	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English　I/II	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。 3.日常生活に必要なイーメイル、手紙、招待状、案内状、カード、申し込み書、簡単な説明書などを英語で書ける。 4.インターネット上の英語のサイトで買い物や予約ができる. 5.読解や聴解によって理解した内容を平易な英語で要約することができる。	

成績評価の方法と基準

Assignment：30%　　In-class effort：40%

Final test：30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

様々な様式のライティング素材を使って、具体的なトレーニングを積み重ねていただきます。書いたものを交換してチェックや質疑応答を英語で行う他、ペアーワークやグループワーク等で実際に毎時間発表する機会を持ち、コミュニケーション能力の向上もはかります。

【授業計画】

第 1回：オリエンテーション,Unit1:Thinking about writing
第 2回Unit　2:Introducing
第 3回Unit　3:Completing forms
第 4回Unit　4:Thanking
第 5回Unit　5:Requesting information
第 6回Unit　6:Getting details
第 7回Unit　7:Inviting and arranging to meet
第 8回Unit　8:Making and changing arrangements
第 9回Unit　9:Giving directions
第10回Unit 10:Dealing with problems
第11回Unit 11:Describing
第12回Unit 12:Giving an opinion and recommending
第13回Unit 13:Writing about a vacation
第14回Unit 14:Writing about an interest
第15回Unit 15:Applying for a Job
期末試験

【授業外学習に関するアドバイス】

ライティングの授業ではありますが、授業ではペアワーク、グループワーク等で頻繁にコミュニケーションをとっていただきますので、前もっての準備を怠らず、授業中はアクティビティに積極的に参加して下さい。課題はクリアーファイルに入れて、授業時には全て持参してください。[注意：アクティビティでハサミを使いますので、毎回必ず持参してください]

教科書・参考書等

Barnard,R.,& Zemach,R.(2005) "Writing for the Real World"OUP.ISBN:978-0-19-453814-5
Roger Barnard,Dorothy E Zemach Oxford University Press

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041424) Communicative English ⅣT(1) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金4	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English　I/II	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences. 3. Write English essays of approximately 300 words; complete written homework assignments; summarize reading and listening passages.	

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In class effort: 30%
midterm exam: 20%
Homework/assignments: 20%
Final exam: 30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

Each class will center around a written task from the textbook as well as supplementary materials. (e.g. sending letters, work emails and so forth. Completed assignments will be used for group analysis and activities. Class will be conducted in English to develop students' English skills. Students will be set weekly writing tasks for homework.

Week 1: Students casually introduce themselves to their teacher and classmates.
Week 2 ~ 4: Units will be taught from the textbook covering topics such as appropriate email etiquette, filling out forms and business letters.
Week 5 ~ 6: preparation for, and submission of midterm report.
Week 7 ~ 14: Continue to work through textbook: topics such as arranging meetings, writing descriptions, sending postcards and invitations.
Week 15 - 16: preparation and submission of final report.

教科書・参考書等

Writing for the Real World: An introduction to General writing, by Roger Barnard and Dorothy E Zemach. Published by Oxford University Press. (2005)
Student book ISBN 978-0-19-453814-5　￥2,847

オフィスアワー　　In class

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041425) Communicative English ⅣT(2) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金4	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 David Billa	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English I/II	

学習時間　　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences. 3. Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately one-page long journal entries each week.	

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:

- Attendance and in-class effort: 30%
- Journals: 30%
- Written Assignments: 40%

(a score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class)

授業計画並びに授業及び学習の方法

[Course Method]

Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]

Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions
Week 2-15: Students should write journal entries and complete assignments.

[Suggestions for self-study]

Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should complete assigned homework and writing assignments. Journal entries must be written every week. Journals will be collected three times during the semester.

教科書・参考書等

Writing from Within 1, Second Edition by Kelly, C. & Gargagliano, A. Cambridge University Press (2011) - ISBN: 978-0-521-18827-2

オフィスアワー　　Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041426) Communicative English ⅣT(3) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金4	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 吉川　友子	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English　I / II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）＋期末試験

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。 3. 英語で150～200語程度のパラグラフを書くことができる。	

成績評価の方法と基準

評価の案を示しておきますが、最終的な判断は授業担当者でお願いします。評価の一部として期末テストを行うことも可能です。

Quiz：10%　　In-class effort（ノート点検を含む）：30%　　Midterm paper：30%　　Final paper：30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】発想をまとめる練習や単文作成練習を通して、まとまった内容のパラグラフ構築へと発展させていきます。また、文や段落の構成について学習し、英文の誤りを直して推敲する練習もします。２ユニットごとに異なる種類のパラグラフを題材にしているので、基本的に授業２回で２ユニットを扱い、変則的に進めます。

【授業計画】
第１回：オリエンテーション、ユニット１・２
第２回～第７回：演習活動（ユニット１～６）
第８回：Midterm paper ＋ノート提出　（第９回：ノート返却）
第９回～第１５回：演習活動（ユニット７～１２）
第１４回: ノート提出　（第１５回：ノート返却）
第１６回：Final paper

【授業外学習に関するアドバイス】
予習復習の具体的な内容については、毎回の授業で指示する。定期試験はパラグラフライティングを予定している。タイトル等の指示は授業内で行う。計画的に準備しておくこと。

教科書・参考書等

Boon, A.(2017) Writing for Fluency and Accuracy. Cengage Learning K.K.
ISBN-13:978-4-86312-306-9

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041427) Communicative English ⅣT(4) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金4	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 田口　明美	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English I/II	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習(予習・復習・課題)

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。 3. 英語で200語程度のエッセイを書くことができる。	

成績評価の方法と基準

小テスト2回: 40%
授業への参加度: 20%
Midterm essay: 20%
Final essay: 20%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

教科書に沿って授業を進め、プリントも適宜配布する。

【授業計画】

第1回: オリエンテーション
第2回～6回: 演習活動
第7回: 小テスト
第8回: Midterm essay 提出
第9回～13回: 演習活動
第14回: 小テスト
第15回: Final essay 提出

【授業外学習に関するアドバイス】

第1回: 事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回～7回: 小テストの勉強とMidterm essay を提出する用意をしておく。
第8回～14回: 小テストの勉強とFinal essay を提出する用意をしておく。
小テストの範囲や提出するessayのタイトルはネットワークを通して指示する。

教科書・参考書等

教科書: Atsuko Yamamoto et al. English Ace.(2017) SEIBIDO,￥1900+税　ISBN: 978-4-7919-5089-8

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041428) Communicative English ⅣT(5) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金4	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English　I/II	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。 3. 見本（モデル）を参考にして英語で150語程度のエッセイを書くことができる。	

成績評価の方法と基準

Quizzes：20%　　In-class effort/homework：20%　　Essays：60%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

基本的にテキストに沿って授業を行います。英語の読み物やビデオに基づく演習活動・エッセイ原稿作成・エッセイの完成、という流れで5つのエッセイを書いてもらいます。

【授業計画】

第1週：オリエンテーショ
第2～3週：Unit 1（演習活動・エッセイ作成），第4～5週：Unit 2（演習活動・エッセイ作成）
第6～7週：Unit 3（演習活動・エッセイ作成），第8～9週：Unit 4（演習活動・エッセイ作成）
第10～11週：Unit 5（演習活動・エッセイ作成），第12～13週：Unit 6（演習活動・エッセイ作成）
第14～15週：Unit 7（演習活動・エッセイ作成）

【授業外学習に関するアドバイス】

十分に予習をした上で授業に臨んで下さい。また課題の提出期限も厳守して下さい。エッセイのタイトル等の指示は授業内で行います。

教科書・参考書等

Kelly, C. & Gargagliano, A. (2011). Writing from Within 1 Second Edition. Cambridge University Press. ￥2,680+税　ISBN: 978-0-521-18827-2

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041429) Communicative English ⅣT(6) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金4	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 アーノルド・デビット	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English Ⅰ/Ⅱ	

学習時間　Class meetings and preparation time per week:　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework)　(approximately 90 min. per week)

授業の概要
Course Outline
One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills.　This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的
Course Objectives
This course focuses on the development of students' written communication skills.　The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences. 3. Fill in official forms in English. 4. Use dictionaries and other resources to produce comprehensible and accurate English sentences.	

成績評価の方法と基準
Course Evaluation
Students will be evaluated on the following:
Homework　40%
Mid-term test: 30%
Final test: 30%

授業計画並びに授業及び学習の方法
【Course Methodology】
Class work will center on activities in the textbook and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds.　Writing will be done both in class and as homework.　Students will gain experience typing in English.　As a rule Japanese will not be allowed in class.

【Class schedule】
Week 1:　Introduction to the course
Week 2~7: Textbook work
Week 8:　Mid-term writing test
Week 9~15 Textbook work
Week 16:　Final writing test

【Suggestions for self-study】
Week 1: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content.
Week 2～6: Students should complete assigned homework from the textbook and handouts.
Week 7: Mid-term test.
Week 8～15: Students should complete assigned homework from the textbook and handouts.
Week 16:　Final written test.

教科書・参考書等
教科書：Writing for the Real World 1 by Barnard,R. and Zemach,D. ISBN:9780194538145

オフィスアワー　　Office Hours : In class

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041430) Communicative English ⅣT(7) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English　I/II	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences. 3. Write English essays of approximately 300 words; complete written homework assignments; summarize reading and listening passages.	

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In class effort: 30%
midterm exam: 20%
Homework/assignments: 20%
Final exam: 30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

Each class will center around a written task from the textbook as well as supplementary materials. (e.g. sending letters, work emails and so forth. Completed assignments will be used for group analysis and activities. Class will be conducted in English to develop students' English skills. Students will be set weekly writing tasks for homework.

Week 1: Students casually introduce themselves to their teacher and classmates.
Week 2 ~ 4: Units will be taught from the textbook covering topics such as appropriate email ettiquette, filling out forms and business letters.
Week 5 ~ 6: preparation for ad submission of midterm report.
Week 7 ~ 14: Continue to work through textbook: topics such as arranging meetings, writing descriptions, sending postcards and invitations.
Week 15 - 16: preparation and submission of final report.

教科書・参考書等

Writing for the Real World: An introduction to General writing, by Roger Barnard and Dorothy E Zemach. Published by Oxford University Press. (2005)
Student book ISBN 978-0-19-453814-5　￥2,847

オフィスアワー　　In class

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041431) Communicative English ⅣT(8) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 David Billa	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English I/II	

学習時間　　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences. 3. Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately one-page long journal entries each week.	

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:

- Attendance and in-class effort: 30%
- Journals: 30%
- Written Assignments: 40%

(a score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class)

授業計画並びに授業及び学習の方法

[Course Method]

Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]

Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions
Week 2-15: Students should write journal entries and complete assignments.

[Suggestions for self-study]

Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should complete assigned homework and writing assignments. Journal entries must be written every week. Journals will be collected three times during the semester.

教科書・参考書等

Writing from Within 1, Second Edition by Kelly, C. & Gargagliano, A. Cambridge University Press (2011) - ISBN: 978-0-521-18827-2

オフィスアワー　　Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041432) Communicative English ⅣT(9) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 吉川　友子	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English　I / II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）＋期末試験

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。 3. 英語で150～200語程度のパラグラフを書くことができる。	

成績評価の方法と基準

評価の案を示しておきますが、最終的な判断は授業担当者でお願いします。評価の一部として期末テストを行うことも可能です。

Quiz：10%　　In-class effort（ノート点検を含む）：30%　　Midterm paper：30%　　Final paper：30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】発想をまとめる練習や単文作成練習を通して、まとまった内容のパラグラフ構築へと発展させていきます。また、文や段落の構成について学習し、英文の誤りを直して推敲する練習もします。２ユニットごとに異なる種類のパラグラフを題材にしているので、基本的に授業２回で２ユニットを扱い、変則的に進めます。

【授業計画】
第１回：オリエンテーション、ユニット１・２
第２回～第７回：演習活動（ユニット１～６）
第８回：Midterm paper ＋ノート提出　（第９回：ノート返却）
第９回～第１５回：演習活動（ユニット７～１２）
第１４回: ノート提出　（第１５回：ノート返却）
第１６回：Final paper

【授業外学習に関するアドバイス】
予習復習の具体的な内容については、毎回の授業で指示する。定期試験はパラグラフライティングを予定している。タイトル等の指示は授業内で行う。計画的に準備しておくこと。

教科書・参考書等

Boon, A.(2017) Writing for Fluency and Accuracy. Cengage Learning K.K.
ISBN-13:978-4-86312-306-9

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041433) Communicative English ⅣT(10) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 田口　明美	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English I/II	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。 3. 英語で200語程度のエッセイを書くことができる。	

成績評価の方法と基準

小テスト2回: 40%
授業への参加度: 20%
Midterm essay: 20%
Final essay: 20%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

教科書に沿って授業を進め、プリントも適宜配布する。

【授業計画】

第1回: オリエンテーション
第2回～第6回: 演習活動
第7回: 小テスト
第8回: Midterm essay 提出
第9回～13回: 演習活動
第14回: 小テスト
第15回: Final essay 提出

【授業外学習に関するアドバイス】

第1回: 事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回～7回: 小テストの勉強とMidterm essay を提出する用意をしておく。
第8回～14回: 小テストの勉強とFinal essay を提出する用意をしておく。
小テストの範囲や提出するessayのタイトルはネットワークを通して指示する。

教科書・参考書等

教科書: Atsuko Yamamoto et al. English Ace. (2017)
SEIBIDO, ￥1900+税　ISBN: 978-4-7919-5089-8

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041434) Communicative English ⅣT(11) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English　I/II	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。 3. 見本（モデル）を参考にして英語で150語程度のエッセイを書くことができる。	

成績評価の方法と基準

Quizzes：20%　　In-class effort/homework：20%　　Essays：60%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】基本的にテキストに沿って授業を行います。英語の読み物やビデオに基づく演習活動・エッセイ原稿作成・エッセイの完成、という流れでエッセイを書いてもらいます。

【授業計画】

第1週：オリエンテーション
第2～3週：Unit 1（演習活動・エッセイ作成），第4～5週：Unit 2（演習活動・エッセイ作成）
第6～7週：Unit 3（演習活動・エッセイ作成），第8～9週：Unit 4（演習活動・エッセイ作成）
第10～11週：Unit 5（演習活動・エッセイ作成），第12～13週：Unit 6（演習活動・エッセイ作成）
第14～15週：Unit 7（演習活動・エッセイ作成）

【授業外学習に関するアドバイス】

授業担当者の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨んで下さい。また課題の提出期限も厳守して下さい。エッセイのタイトル等の指示は授業内で行います。

教科書・参考書等

Kelly, C. & Gargagliano, A. (2011). Writing from Within 1 Second Edition. Cambridge University Press. ￥2,680+税　ISBN: 978-0-521-18827-2

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定してください。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041435) Communicative English ⅣT(12) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 アーノルド・デビット	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　Class meetings and preparation time per week:　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework)　(approximately 90 min. per week)

授業の概要

Course Outline

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills.　This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

Course Objectives

This course focuses on the development of students' written communication skills.　The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences. 3. Fill in official forms in English. 4. Use dictionaries and other resources to produce comprehensible and accurate English sentences.	

成績評価の方法と基準

Course Evaluation

Students will be evaluated on the following:

Homework　40%

Mid-term test: 30%

Final test: 30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【Course Methodology】

Class work will center on activities in the textbook and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds.　Writing will be done both in class and as homework.　Students will gain experience typing in English.　As a rule Japanese will not be allowed in class.

【Class schedule】

Week 1:　Introduction to the course

Week 2~7: Textbook work

Week 8:　Mid-term writing test

Week 9~15 Textbook work

Week 16:　Final writing test

【Suggestions for self-study】

Week 1: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content.

Week 2～6: Students should complete assigned homework from the textbook and handouts.

Week 7: Mid-term test.

Week 8～15: Students should complete assigned homework from the textbook and handouts.

Week 16:　Final written test.

教科書・参考書等

教科書：Writing for the Real World 1 by Barnard,R. and Zemach,D. ISBN:9780194538145

オフィスアワー　　Office Hours : In class

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041436) Communicative English ⅣA(1) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期木3	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 ニコラス　ダニエル　フライ	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English　I/II	

学習時間　　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills.　This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills.　The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences. 3. Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately 100-word journal entries each week.	

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 10%　　Mid-term essay: 30%　　Final essay: 60%

授業計画並びに授業及び学習の方法

[Course Method]
Each class will center on a writing task in the textbook (e.g., business letters, responses to invitaions, etc.) Writing will be done in class and assigned as homework. Completed writing assignments will be used for group activities and other communicative tasks. Class will be conducued exclusivly in English in order to develop students' overall English skills.

[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions
Week 2-7: Begin Writing for the Real World (WRW); writing tasks
Week 8: Mid-term test
Week 9-15: Writing tasks
Week 16: Final test.

[Suggestions for self-study]
Week 1-14: Complete homework from the textbook and other writing assignments.

教科書・参考書等

Barnard, R., & Zemach, D. (2005). Writing for the Real World 1. Oxford: Oxford University Press. ISBN 978-0194538145.

オフィスアワー　　Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041437) Communicative English ⅣA(2) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期木4	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 ニコラス　ダニエル　フライ	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English　I/II	

学習時間　　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills.　This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills.　The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences. 3.　Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately 100-word journal entries each week.	

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 10%　　Mid-term essay: 30%　　Final essay: 60%

授業計画並びに授業及び学習の方法

[Course Method]
Each class will center on a writing task in the textbook (e.g., business letters, responses to invitaions, etc.) Writing will be done in class and assigned as homework. Completed writing assignments will be used for group activities and other communicative tasks. Class will be conducued exclusivly in English in order to develop students' overall English skills.

[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions
Week 2-7: Begin Writing for the Real World (WRW); writing tasks
Week 8: Mid-term test
Week 9-15: Writing tasks
Week 16: Final test

[Suggestions for self-study]
Week 1-14: Complete homework from the textbook and other writing assignments.

教科書・参考書等

Barnard, R., & Zemach, D. (2005). Writing for the Real World 1. Oxford: Oxford University Press. ISBN 978-0194538145.

オフィスアワー　　Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041438) Communicative English ⅣA(3) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期木3	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 大山　茂之	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English　I/II	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。 3.英語で200語程度のまとまった文章を書くことができる。	

成績評価の方法と基準

授業中の発表など：30%　　レポート：40%　　期末テスト：30%

（授業中の自発的な発表をポイントにして評価します。学期中に2回、レポートを提出してもらう予定です。）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

毎回、テキストに沿って、

1.例文などを通じて、意味のかたまり、論理展開の仕方を学びます。

2.重要文法事項やよく使われる重要表現をさまざまな練習問題で復習します。

3.英語表現の基礎を固めながら、パラグラフの作成を目指します。

【授業計画】

第1回オリエンテーション

第2回～第15回　順に以下の項目について学習する予定です。

What Is a Paragraph? （パラグラフとは何か）
Narration (出来事を語る)
Process (手続き・手順 を説明する)
Description of Feelings (感情を描写する)
Description of Peoples (人を描写する)
Description of Places & Locations (場所を描写する)
Definition (人物や物事を定義する)
Comparison & Contrast (比較&対照)
Cause and Effect (原因と結果)
Problems and Solutions （問題と解決）
Your Opinion - pros (賛成意見)
Your Opinion - Disagree (反対意見を述べてみよう)
e-mail Writing (e-mailの書き方) , etc.

別途、試験を実施する予定です（第16回）

【授業外学習に関するアドバイス】

第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。

第2～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。

その他：英語で書いたプレゼンテーション用原稿を学期中に数回提出してもらう予定である。タイトル等の指示は授業内で行う。

教科書・参考書等

仲谷　都/吉原　学/Ruth Fallon(2016), Smart Writing:Active Approach to Paragraph Writing(「はじめてのパラグラフ・ライティング」)成美堂.　2,000円（税込2,160円）　　ISBN　9784791960323

オフィスアワー　　第1回の授業で連絡します。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

英語を「書く」ということに苦手意識を持っている皆さんも少なくないと思います。この授業では、基本的な文法事項なども復習しながら、皆さんの身近なトピックについて、まとまった英語が書けるようにしたいと思います。この授業を通じて、人前で情報を伝達したり、自分の考えを説明できる基礎的な能力を身につけてほしいと願っています。事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041439) Communicative English ⅣA(4) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期木4	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 大山　茂之	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English　I/II	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。 3. 英語で200語程度のまとまった文章を書くことができる。	

成績評価の方法と基準

授業中の発表など：30%　　レポート：40%　　期末テスト：30%

（授業中の自発的な発表をポイントにして評価します。学期中に2回、レポートを提出してもらう予定です。）

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

毎回、テキストに沿って、

1.例文などを通じて、意味のかたまり、論理展開の仕方を学びます。

2.重要文法事項やよく使われる重要表現をさまざまな練習問題で復習します。

3.英語表現の基礎を固めながら、パラグラフの作成を目指します。

【授業計画】

第1回オリエンテーション

第2回～第15回　順に以下の項目について学習する予定です。

What Is a Paragraph? （パラグラフとは何か）
Narration (出来事を語る)
Process (手続き・手順 を説明する)
Description of Feelings (感情を描写する)
Description of Peoples (人を描写する)
Description of Places & Locations (場所を描写する)
Definition (人物や物事を定義する)
Comparison & Contrast (比較&対照)
Cause and Effect (原因と結果)
Problems and Solutions （問題と解決）
Your Opinion - pros (賛成意見)
Your Opinion - Disagree (反対意見を述べてみよう)
e-mail Writing (e-mailの書き方) , etc.

別途、試験を実施する予定です（第16回）

【授業外学習に関するアドバイス】

第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。

第2～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。

その他：英語で書いたプレゼンテーション用原稿を学期中に数回提出してもらう予定です。タイトル等の指示は授業内で行う。

教科書・参考書等

仲谷　都/吉原　学/Ruth Fallon(2016), Smart Writing:Active Approach to Paragraph Writing(「はじめてのパラグラフ・ライティング」)成美堂.　2,000円（税込2,160円）　　ISBN　9784791960323

オフィスアワー　　第1回の授業で連絡します。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

英語を「書く」ということに苦手意識を持っている皆さんも少なくないと思います。この授業では、基本的な文法事項なども復習しながら、皆さんの身近なトピックについて、まとまった英語が書けるようにしたいと思います。この授業を通じて、人前で情報を伝達したり、自分の考えを説明できる基礎的な能力を身につけてほしいと願っています。事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041440) Communicative English ⅣA(5) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期木3	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English　I/II	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。 3. 英語で400語程度のエッセイを書くことができる。	

成績評価の方法と基準

Quizzes：20%　　In-class effort/homework：20%　　Essays：60%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

基本的にテキストに沿って授業を行います。英語の読み物やビデオに基づく演習活動・エッセイ原稿作成・エッセイの完成、という流れでエッセイを書いてもらいます。

【授業計画】

第1～3週：オリエンテーション・Unit 1（演習活動・エッセイ作成）
第4～6週：Unit 2（演習活動・エッセイ作成）
第7～9週：Unit 3（演習活動・エッセイ作成）
第10～12週：Unit 4（演習活動・エッセイ作成）
第13～15週：Unit 5（演習活動・エッセイ作成）

【授業外学習に関するアドバイス】

授業担当者の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨んで下さい。エッセイのタイトル等の指示は授業内で行います。

教科書・参考書等

Blass, L., & Vargo, M. (2013). Pathways: Reading, Writing, and Critical Thinking Book 1A. NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING / HEINLE CENGAGE Learning. ISBN: 978-1-285-45246-3　　￥ 2,500+税

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041441) Communicative English ⅣA(6) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期木4	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English　I/II	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。 3. 英語で400語程度のエッセイを書くことができる。	

成績評価の方法と基準

Quizzes：20%　　In-class effort/homework：20%　　Essays：60%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】基本的にテキストに沿って授業を行います。英語の読み物やビデオに基づく演習活動・エッセイ原稿作成・エッセイの完成、という流れでエッセイを書いてもらいます。

【授業計画】
第1～3週：オリエンテーション・Unit 1（演習活動・エッセイ作成）
第4～6週：Unit 2（演習活動・エッセイ作成）
第7～9週：Unit 3（演習活動・エッセイ作成）
第10～12週：Unit 4（演習活動・エッセイ作成）
第13～15週：Unit 5（演習活動・エッセイ作成）

【授業外学習に関するアドバイス】
授業担当者の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨んで下さい。エッセイのタイトル等の指示は授業内で行います。

教科書・参考書等

Blass, L., & Vargo, M. (2013). Pathways: Reading, Writing, and Critical Thinking Book 1A. NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING / HEINLE CENGAGE Learning.　ISBN: 978-1-285-45246-3　￥2,500+税

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041442) Communicative English ⅣED(12) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金5	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 水野　康一	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English I/II	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。 3. ビジネスの場面で使われている英語表現を理解し，簡単なe-mailを書くことができる。	

成績評価の方法と基準

In-class effort：40%　　Midterm exam：30%　　Final exam：30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】教科書に従って，毎回１ユニットずつ進めていく。

【授業計画】

第１回 Introducing yourself
第２回 Arranging meetings
第３回 Discussing travel plans
第４回 Recommending
第５回 Inviting
第６回 Making inquiries
第７回 Midterm exam (e-mail writing)
第８回 Placing orders
第９回 Responding to orders
第10回 Making payment
第11回 Complaints
第12回 Checking progress
第13回 Interoffice memos
第14回 Discussing proposals
第15回 Reports

【授業外学習に関するアドバイス】

教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。

中間，期末試験は，与えられた課題についてe-mailの文章を書くというものです。自宅学習においても文章表現の練習を行ってください。

教科書・参考書等

Barnard, R., & Meehan, A. Writing for the Real World 2 (Pre-Intermediate). OUP.

オフィスアワー　　月曜　4校時

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。欠席回数が４回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻を３回すると欠席１回となります。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041444) Communicative English ⅣNP(1) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金1	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 ｳｨﾘｰ･ｲｱﾝ･ﾃﾞﾋﾞｯﾄﾞ	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English I/II	

学習時間　Class meetings and preparation time per week:　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework (approximately 90 min. per week)

授業の概要

Course Outline

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills.　This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

Course Objectives

This course focuses on the development of students' written communication skills.　The primary objective is for students to become more fluent, accurate, and reader-focused writers by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Write well-developed paragraphs in English; 2. Write different types of paragraphs (narrative, descriptive, compare & contrast, cause & effect, & summary) 3. Competently proofread their own writing; 4. Competently revise their own writing, based on teacher feedback; 5. Type a 1-2 page essay in English using MS-Word; 6. Read their own writing aloud to other students in groups or before the class, while making eye contact; 7. Improve their overall English communication skills through pair and group speaking tasks.	

成績評価の方法と基準

Evaluation will be based on the criteria below:

Participation: 20%

Writing tasks: 60%

Final essay: 20%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【Class method】

In a typical class, the first hour of class will be spent on activities in the textbook. Students will write in their notebooks, and engage in pair and group activities. In the last 30 minutes, students will take part in communicative tasks, such as role plays and writing/discussion activities that center on, for example, articles and music or videos. All class activities will be conducted in English.

【Class schedule】

Week 1: Introductions; Writing sample

Week 2: Begin textbook work: Writing basics

Week 3-14: Textbook & communicative activities

Week 15: Final essay due

【Suggestions for self-study】

Week 1: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content.

Week 2-14: Students should complete assigned writing homework.

Week 15: Students should submit their Final essays.

教科書・参考書等

Boon, Andy. (2017). Writing for Fluency and Accuracy. Cengage Learning. ISBN: 978-4-86312-306-9. 2,500 yen + 税.

* All students must also have a notebook for writing tasks.

オフィスアワー　Information about office hours and arranging meetings will be provided on the first day of class.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。欠席回数が４回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻を３回すると欠席１回となります。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041445) Communicative English ⅣNP(2) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金1	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 HILL STEPHEN MICHAEL RICHARD	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English I/II	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences. 3. [Depending on ability level of students: Instructor should select appropriate goal/goals] Write English essays of approximately [number] words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately [number]-word journal entries each week.	

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Quizzes and assignments: 40%　　In-class effort: 10%　　Mid-term essay: 20%　　Final essay: 30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should complete assigned homework and writing assignments.
* Essays will be collected during weeks 7 and 15. Topics and directions will be provided in class/

教科書・参考書等

Hirano Mitsuko, et al. (2019) Talking with Your Patients in English. SEIBIDO　¥2,700 ISBN: 9784791971930

オフィスアワー　　Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041446) Communicative English ⅣNP(3) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金1	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 木戸口　英樹	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English　I / II	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。 3. 担当するレベルを考慮した上で「英語で300語程度のエッセイを書くことができる」、「読解や聴解によって理解した内容を平易な英語で要約することができる」、「英語で毎日200語程度のジャーナルを書くことができる」等の達成目標を授業担当者がご決定ください。詳細については資料１の5.3をご確認ください。	

成績評価の方法と基準

課題作文提出７回（６５%)、 最終試験（２５%)、出席・学習意欲（１０%）で
評価します。

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

英文を書くためには，推敲や論理性が求められます。文の展開に必要な論理性とは何かを毎回の教材に従って身につけます。学期末の試験を行います。

【授業計画】

第１回：イントロダクション：事前に教科書を購入し内容を確認してから授業に臨むこと。
第２回～第１５回：テキストの内容,与えられたテーマに沿って英文を７回書く。
第16回：学期末テスト

教科書・参考書等

Keystone Grammar-based English Writing
Noboru Nagasaka, Gordon Robson,
Seibido, 2013, ￥2,052 (Tax included), ISBN 978-4-7919-1292-6

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041447) Communicative English ⅣNP(4) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期金1	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 長井　克己	関連授業科目　　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　　Academic English I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1.英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2.ウェブの高度な検索で，適切なコロケーションを選ぶことができる。 3.手元を見ずにキーボードが打て，スペルチェックやシソラスが使える。	

成績評価の方法と基準

In-class writing: 20%, Effort: 20%,
Exam 1: 30%, Exam 2: 30%.

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の□法】

(1) Watch/Read BBC news
(2) Discuss the topic
(3) Practice writing using Google advanced/collocation search
毎週ネット上で課題を提出し，出席確認とする。

【授業計画】

第１回：Introduction to the course / Unit 1
第２回～第７回： Unit 1-4
第８回：Exam 1 / tutorial
第９回～第１４回：Unit 5-8
第１５回：Exam 2 / follow-up
11/8と12/6は教室変更予定。

【授業外学習に関するアドバイス】

２回の試験は教科書の各課に２つずつの Reading の空所補充３０問。

教科書・参考書等

Broukal, M. (2015) Weaving It Together 2 Student Book,
Cengage. ISBN 9781305251656.

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し第１回目の授業に出席してください。欠席回数が４回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻を３回すると欠席１回となります。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041448) Communicative English ⅣN(1) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金3	対象年次及び学科 3～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 Gudelia Garcia Fernandez Maria	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　Academic English I/II		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences. 3. Write English essays of approximately 450 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately 300-word journal entries each week.	

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Quizzes: 20%　In-class effort: 30%　Mid-term essay: 20%　Final essay: 30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.
[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions
[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should complete assigned homework and writing assignments.
* Essays will be collected during weeks 7 and 15. Topics and directions will be provided in class/

教科書・参考書等

Writing from Within Level 1 Student's Book by Curtis Kelly and Arlen Gargagliano

オフィスアワー　Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041449) Communicative English ⅣN(2) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金3	対象年次及び学科 3～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 長井　克己	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English I/II	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. コンピュータを用いて英文を修正しながら書ける。	

成績評価の方法と基準

In-class writing: 20%, Effort: 20%,
Exam 1: 30%, Exam 2: 30%.

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の□法】
(1) Watching/Reading BBC news
(2) Discussion about the topics
(3) Writing practice with Google advanced/collocation search
課題提出で出席確認を行う。

【授業計画】
4/12 : Introduction to the course / Unit 1
4/19 : Unit 2
4/26 : Unit 3
5/10 : Unit 4
5/17 : Unit 5
5/24 : Unit 6
5/31 : Unit 7
6/ 7 : Tutorial, Exam 1
6/14 : Unit 8
6/21 : Unit 9
6/28 : Unit 10
7/ 5 : Unit 11
7/12 : Unit 12, 13
7/19 : Unit 14, 15
7/26 : Exam 2, follow-up

【授業外学習に関するアドバイス】
試験は教科書DVD script の空所補充３０問。

教科書・参考書等

Onjohji and Skelton. (2010)
Everyday English for Nursing on DVD
成美堂. ISBN 9784791931200.

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

教科書を購入し内容を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041450) Communicative English ⅣN(3) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期金3	対象年次及び学科 3～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 竹中　千鶴	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Academic English　I / II	

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。 3. 実生活の中で書かれるさまざまなタイプの英文について、形式上の決まり事、また求められる丁寧さの度合いについて理解し、適切な英文が書けるようになる。 ４．英語で200語程度のジャーナルを書くことができる。	

成績評価の方法と基準

小テスト：20%
平常点：30%
中間テスト：20%
期末テスト：30%

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】テキストに添って課題をこなしていくことが基本であるが、各自が英文を予め書いてきて、クラスメートに読んでもらったり、あるいは自ら音読して聞いてもらったりするなど、ただ書くだけではなく、読む、聞く、話す活動も取り入れる予定である。
授業中はペア活動、グループ活動をできるだけ行う。

【授業計画】

第1回　　オリエンテーション
第2回～第6回　Unit　2～　Unit　7
第7回　　中間テスト
第8回～第15回　Unit8　～Unit　15
第16回　　期末テスト

【授業外学習に関するアドバイス】

第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第1～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
辞書を持参すること、また、授業用のノートを準備すること。

教科書・参考書等

Barnard, R. & Zemach, R. (2005). Writing for the Real World. Oxford University Press. ISBN: 978-0-19-453814-5

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-axxG-5N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041501) Intensive English Ⅰ Intensive English Ⅰ TOEFLiBT受験対策 TOEFLiBT Preparation	科目区分 特別教育プログラム	時間割 前期月3,木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 axxG	対象学生・特定プログラムとの対応 5N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 水野　康一, 川端　美都子	関連授業科目　Communicative English Ⅰ		
	履修推奨科目　Intensive English II		

学習時間　　講義９０分　×　３０回　＋　自学自習

授業の概要
この授業では、TOEFL iBT の問題演習を徹底的かつ集中的に行う。週２回の授業のうち、一方では Reading Section を、他方では Listening Section を扱う。

授業の目的
この授業は、「香川大学ネクストプログラム：グローバル人材育成プログラム（英語コース)」の必修科目のひとつである。

英語圏の大学で講義を受ける際に必要な読解能力および聴解能力を身につけることを目的とする(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応)。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
１．英語圏の大学で使用される教科書レベルの学術的文章を読んで理解することができる。 ２．英語による講義の内容を聞いて理解することができる。 ３．英語による討論の内容を聞いて理解することができる。 ４．英語圏の大学生活における日常的な会話を理解することができる。 ５．後期終了時点でTOEFL iBTで61点以上のスコアを獲得することができる。	

成績評価の方法と基準
課題等への取り組み　２５％
小テスト　２５％
期末テスト（TOEFL ITP）　５０％

授業計画並びに授業及び学習の方法
【授業の方法】毎回の授業（第１～４回を除く）は、以下のように進める。
授業開始～20分：小テストを実施し、解答解説を行う。
20分～55分：教科書の予習指定範囲について解答解説を行う。
55分～授業終了：予習指定範囲に関連する別の問題を解く。その後、解答解説を行う。

＊適宜、語彙力増強トレーニングや、ディクテーションなどの精聴トレーニングを組み込む。

【授業計画】
第１回：イントロダクション①（授業の進め方、TOEFL iBT Reading Section の傾向と対策）
第２回：イントロダクション②（授業の進め方、TOEFL iBT Listening Section の傾向と対策）
第３回：Listening Section 模試
第４回：Reading Section 模試
第５回～第28回：問題演習
第29回：Listening Section 模試
第30回：Reading Section 模試

【自学自習のアドバイス】
・毎回、教科書の予習範囲を指定する。必ず問題を解いてから授業に臨むこと。
・未知の単語や英語表現については、常に自ら調べ、定着をはかること。
・多くの課題提出を求めるので、もれなく取り組むこと。

教科書・参考書等
授業において指示する。

オフィスアワー　　月曜　4校時（経済学部　水野研究室）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
「香川大学ネクストプログラム：グローバル人材育成プログラム（英語コース)」の必修科目である。本プログラムに関係するガイダンス等に出席すること。

本プログラムに参加していない学生は、定員に余裕がある場合、受講が認められることがある。

ナンバリングコード　B2ENG-axxG-5N-Ex2 授業科目名　　(時間割コード：041502) Intensive EnglishⅡ Intensive EnglishⅡ TOEFL iBT: Speaking & Writing	科目区分 特別教育プログラム	時間割 後期月3,木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 axxG	対象学生・特定プログラムとの対応 5N
	授業形態 Ex	単位数 2	
担当教員名 ﾏｸﾗﾊﾝ･ｼﾞｪﾗﾃﾞｨｰﾝ, ｳｨﾘｰ･ｲｱﾝ･ﾃﾞﾋﾞｯﾄﾞ	関連授業科目　Communicative English II		
	履修推奨科目　Intensive English I		

学習時間　30 lessons (90 min. each) + Out-of-class work (at least 3 hours/week)

授業の概要

This course aims to help students develop speaking and writing skills needed for the TOEFL iBT. Monday's class (taught by McCrohan) will focus on speaking; Thursday's class (taught by Willey) will focus on writing.

授業の目的

この授業は、「香川大学ネクストプログラム：グローバル人材育成プログラム（英語コース)」の必修科目のひとつである。

英語圏の大学で講義を受ける際に必要なコミュニケーション能力および文章作成能力を身につける(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ことを目的とする。

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
Through this course, students will become enabled to: 1. Speak in English for varying amounts of time about different academic topics; 2. Take effective notes in order to prepare for speaking and writing tasks; 3. Complete both the Integrated writing task and Independent writing task in the alotted time; 4. Use academic vocabulary effectively in both speaking and writing tasks. 5. Attain a score of 61 or above on the TOELF iBT. 6. Actively participate in courses taught exclusively in English.	

成績評価の方法と基準

In-class participation and effort: 20%

Homework and out-of-class assignments:　80%

授業計画並びに授業及び学習の方法

Overview

Class activities will center on tasks in the textbook or materials provided by the instructors. Students will be assigned homework before each class meeting, and this homework will be part of class activities. For the writing class, students must complete at least one essay per week using the Criterion essay writing program.

Class 1: Introduction 1: TOEFL iBT Speaking Section
Class 2: Introduction 2: TOEFL iBT Writing Section + Criterion orientation
Class 3-28: Speaking and writing practice
Class 29-30: Speaking and writing practice tests

This is an intensive course, which means at least 3 hours of homework will be assigned every week. Students must complete all homework assignments in order to participate in each class. It is important to stay up-to-date with all assignments.

NOTE: A detailed syllabus and calendar for each section (Speaking and Writing) will be given to students on the first meeting of the Speaking class and Writing class. It is best to think of these two sections as two separate classes.

教科書・参考書等

Speaking section:

Rogers, B. (2007). The Complete Guide to the TOEFL Test Speaking. Cengage. ISBN: 978-981-265-987-3, ￥3,046 (税込)

Writing section:

Lougheed, L. (Ed.). (2014). Writing for the TOEFL iBT. Barron's Educational Series. ISBN: 978-1-4380-7456-6, ￥2,879(税込).

オフィスアワー　This information will be provided by each instructor on the first class.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

「香川大学ネクストプログラム：グローバル人材育成プログラム（英語コース)」の必修科目である。本プログラムに関係するガイダンス等に出席すること。

本プログラムに参加していない学生は、定員に余裕がある場合、受講が認められることがある。ただし、この場合、単位は卒業要件には含まれないので注意すること。

ナンバリングコード　B2ENG-abcG-10-Eg1 授業科目名　　(時間割コード：041601) Academic English Ⅰ(1) Academic English Ⅰ Advanced English 1 (1)	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期火4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abcG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Eg	単位数 1	
担当教員名 ポール・バテン	関連授業科目	Communicative English classes	
	履修推奨科目	Communicative English classes	

学習時間　There are fifteen classes in this course. Each class is for ninety minutes. As this is Advanced English, a high level of dedication is expected - students should prepare carefully for at least ninety minutes for each classes in order to be able to contribute to the class.

授業の概要

This is a class for students who are interested in discussing issues in English with an academic focus. We will use the text to look at various issues and develop students' skills in commenting on and presenting their ideas on these. Depending on class size, students' individual areas of weakness and/or interest (e.g., pronunciation, vocabulary, language/cultural points) will also be included in the class and then ultimately assessed.

授業の目的

The goal of this course is to develop the learners' abilities in discussing and explaining their ideas convincingly and appropriately in an English language academic setting. Through a range of topics and issues, some familiar to the students and some not, students will develop better self-expression skills in academic English. There is also a focus on vocabulary and fact checking. Through a focus on various topics interesting and thought-provoking debate and exchange of ideas will be stimulated. I hope that as 'advanced' speakers of English, students will be prepared to introduce and discuss interesting and useful topics.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
After completing this class, students will be able to: 1) understand to express their opinions in 'paragraph length' comments 2) understand etymologies of English words 3) better knowledge of the topics discussed in class 4) use compensatory strategies in English 5) understand current issues in the English-speaking world focused on 6) better knowledge of academic English - appropriate vocabulary and discussion and presentation skills	

成績評価の方法と基準

Evaluation will be based on: in-class performance (25%), improvement of areas of weakness (25%), ability in compensatory strategies (25%), contribution to class and topics in general (25%). Students who develop the ability and confidence to explain their ideas (and indeed have something of interest to contribute) and can compare and contrast ideas will be evaluated highly.

授業計画並びに授業及び学習の方法

The focus will be on researching a topic, preparatory readings of the text, and then being able to discuss these in class and discuss them fully.

(1) Introduction to class methodology and goals, self-introductions.

Lessons 2 - 14 : chapters will be selected from the text upon consultation with students. Students will also work together to prepare a text for the class.

(15) Student presentations (final)

教科書・参考書等

Life Topics: Reflections. 総合英語ライフトピックス４。 Johnathon Berman and Takashi Shimaoka. Nan'undo.

オフィスアワー　Monday, 3:00 - 4:00 p.m. Please email me beforehand and tell me what you would like to discuss. 研究室は８号館の４Fです。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

Students must be prepared to fully participate and make contributions to the class.
４回以上の欠席回数の場合は単位を与えられません。

ナンバリングコード　B2ENG-abcG-10-Eg1 授業科目名　　(時間割コード：041602) Academic English I (2) Academic English I Academic English I	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期月5	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 abcG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Eg	単位数 1	
担当教員名 HILL STEPHEN MICHAEL RICHARD	関連授業科目	Communicative English classes	
	履修推奨科目	Communicative English classes	

学習時間　There are fifteen classes in this course. Each class is for ninety minutes. As this is Advanced English, a high level of dedication is expected - students should prepare carefully for at least ninety minutes for each classes in order to be able to contribute to the class.

授業の概要

This is a class for students who are interested in discussing issues related to human psychology in English with an academic focus. We will use the text to look at various issues and develop students' skills in commenting on and presenting their ideas on these. Depending on class size, students' individual areas of weakness and/or interest (e.g., pronunciation, vocabulary, language/cultural points) will also be included in the class and then ultimately assessed.

授業の目的

The goal of this course is to develop the learners' abilities in discussing and explaining their ideas convincingly and appropriately in an English language academic setting. Through a range of topics and issues, some familiar to the students and some not, students will develop better self-expression skills in academic English. Through a focus on various topics interesting and thought-provoking debate and exchange of ideas will be stimulated.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
After completing this class, students will be able to: 1) express their opinions in 'paragraph length' comments 2) understand etymologies of English words 3) gain knowledge of some of the topics discussed in class 4) use compensatory strategies in English 5) understand current issues which relate to human psychology 6) improve their knowledge of academic English - appropriate vocabulary and discussion and presentation skills	

成績評価の方法と基準

Evaluation will be based on: in-class performance (25%), improvement of areas of weakness (25%), ability in compensatory strategies (25%), contribution to class and topics in general (25%). Students who develop the ability and confidence to explain their ideas (and indeed have something of interest to contribute) and can compare and contrast ideas will be evaluated highly.

授業計画並びに授業及び学習の方法

The focus will be on researching a topic, preparatory readings of the text, and then being able to discuss these in class and discuss them fully.

(1) Introduction to class methodology and goals, self-introductions.

Lessons 2 - 14 : chapters will be selected from the text upon consultation with students. Students will also work together to prepare a text for the class.

(15) Student presentations (final)

教科書・参考書等

Jim Knudsen. (2014) Practical Psychology. NAN'UN-DO ¥1,800 + TAX　ISBN: 9784523177432

オフィスアワー　Please consult with the instructor during classtime to organize a meeting.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

4回以上の欠席回数の場合は単位を与えられません。
Students should have a TOEIC score of at least 500 to enter this class.

ナンバリングコード　B2ENG-axxG-10-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041603) Academic English Ⅰ(3) Academic English Ⅰ Academic English skills	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 前期月4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 axxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 ｳｨﾘｰ･ｲｱﾝ･ﾃﾞﾋﾞｯﾄﾞ	関連授業科目　Communicative English I, II, III		
	履修推奨科目		

学習時間　90 min classes X 15 class meetings; + 90~180 min out-of-class work per week.

授業の概要

This course is for students who hope to improve their academic English speaking skills. Students will learn valuable interview techniques and have many opportunities to discuss and debate topics with classmates in English.

授業の目的

Through this course, students will become more confident and competent speakers of English, in pairs, groups, and when delivering short speeches in front of others. The main goal is to help students become able to use English competently on a global stage, when speaking with people from around the world.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
Through this course, students will become able to: 1. Voice their own opinions and offer information in pairs, groups, and in class discussion; 2. Speak in English continuously for 2 minutes about various topics; 3. Use expressions and techniques to make their speech sound more natural and fluent; 4. Prepare and deliver short English speeches and presentations.	

成績評価の方法と基準

Students' grades will be based on the following:
20%: Participation (in-class effort)
60%: Short speeches and presentations
20%: Final interview

授業計画並びに授業及び学習の方法

授業及び学習の方法

The textbook for this course focuses on the speaking part of the IELTS test. Students will learn how to speak about themselves and various topics in interviews and speeches. We will often discuss short videos, readings, and music, and engage in group work and short speech tasks. Students will deliver at least three presentations in front of the class, and complete a final one-on-one interview with the teacher.

(1) Introduction to class and students; Warm-up topics
(2-14) Speaking tasks and other activities
(15) Final interview

Suggestions for Self-study: Assignments will be explained in each class, and will include advice on how assignments can be completed efficiently.

教科書・参考書等

Kovacs, Karen. (2011). Speaking for IELTS. HarperCollins. 978-0007423255. 1,970 yen.

オフィスアワー　Information about office hours and arranging meetings will be provided by the instructor on the first day of class.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

４回以上の欠席回数の場合は単位を与えられません。

ナンバリングコード　B2ENG-axxG-10-Lg1 授業科目名　　(時間割コード：041604) Academic EnglishⅡ(1) Academic EnglishⅡ IELTS Listening and Speaking Skills	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期木3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 axxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lg	単位数 1	
担当教員名 ﾏｸﾗﾊﾝ･ｼﾞｪﾗﾃﾞｨｰﾝ	関連授業科目		
	履修推奨科目		

学習時間　Class meetings and preparation time per week　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, etc.) Students should spend at least 2 hours per week on out-of-class preparation. Writing skills practice will mainly be assigned as homework.

授業の概要

This course aims to improve students' speaking skills for the IELTS interview test. There will be a focus on pronunciation/intonation, responding to questions, giving information, proposing a solution and expressing an opinion.　Some attention will be paid to developing student's writing skills for the IELTS.

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills with a focus on the skills required for the speaking section of the IELTS exam.　There will be an emphasis on developing vocabulary, phrases and sentence forms.　The primary objective is for students to improve their English speaking by the end of the 15-week semester.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
In this oral communication course, students will become able express them opinion or give information verbally in a clear and organised manner.	

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on:
In-class work and homework assignments:　20%
Mid-term　interview test:　40%
Final interview test:　20%
Final Presentation: 20%

授業計画並びに授業及び学習の方法

Class work will center on developing the spoken skills necessary to take the interview section of the　IELTS test. There will be a focus on developing vocabulary, and the use of spoken discourse markers needed to give good responses to interview questions.　In addition, students will be expected to give mini presentations on a variety of topics throughout the semester. Aspects of the speech act will be introduced as the semester unfolds (including the verbal message, non-verbal message and rhetorical message).　Students will be given many opportunities in class to practice these skills.　As a rule, Japanese will not be allowed in class.

Week 1: Introduction to course
Week 2-3: IELTS interview practice Section 1; mini presentations on personal topics
Week 4-6: IELTS Interview practice Section 2; mini presentations on personal topics
Week 7: Review of sections 1 and 2
Week 8: Mid-term interview test:　IELTS interview test sections 1 & 2
Week 9-12 IELTS interview practice Section 3; opinion-based mini presentations ; IELTS writing practice for graphs and charts.　Final presentation topics will be decided in week 12.
Week 13-14: Final interview tests: IELTS interview test sections 1,　2 & 3; Final presentation workshops
Week 15: Final presentations

教科書・参考書等

Cullen, P. (2008). Cambridge Vocabulary for IELTS.　Cambridge University Press.　ISBN:978-0521709750 ￥3700
Students are required to bring a bilingual dictionary to all classes.

オフィスアワー　Wednesday: 13:00-14:00 (Saiwai Campus only)

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

4回以上の欠席回数の場合は単位を与えられません。
Students should have a TOEIC score of at least 500 to enter this class.

ナンバリングコード　B2ENG-axxG-10-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041605) Academic EnglishⅡ(2) Academic EnglishⅡ Academic English skills	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期木3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 axxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 ｳｨﾘｰ･ｲｱﾝ･ﾃﾞﾋﾞｯﾄﾞ	関連授業科目　Communicative English I, II, III		
	履修推奨科目		

学習時間　90 min classes X 15 class meetings; + 90~180 min out-of-class work per week.

授業の概要

This course is for students who hope to improve their academic English speaking skills. Students will learn valuable interview techniques and have many opportunities to discuss and debate topics with classmates in English.

授業の目的

Through this course, students will become more confident and competent speakers of English, in pairs, groups, and when delivering short speeches in front of others. The main goal is to help students become able to use English competently on a global stage, when speaking with people from around the world.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
Through this course, students will become able to: 1. Voice their own opinions and offer information in pairs, groups, and in class discussion; 2. Speak in English continuously for 2 minutes about various topics; 3. Use expressions and techniques to make their speech sound more natural and fluent; 4. Prepare and deliver short English speeches and presentations.	

成績評価の方法と基準

Students' grades will be based on the following:
20%: Participation (in-class effort)
60%: Short speeches and presentations
20%: Final interview

授業計画並びに授業及び学習の方法

授業及び学習の方法

The textbook for this course focuses on the speaking part of the IELTS test. Students will learn how to speak about themselves and various topics in interviews and speeches. We will often discuss short videos, readings, and music, and engage in group work and short speech tasks. Students will deliver at least three presentations in front of the class, and complete a final one-on-one interview with the teacher.

(1) Introduction to class and students; Warm-up topics
(2-14) Speaking tasks and other activities
(15) Final interview

Suggestions for Self-study: Assignments will be explained in each class, and will include advice on how assignments can be completed efficiently.

教科書・参考書等

Kovacs, Karen. (2011). Speaking for IELTS. HarperCollins. 978-0007423255. 1,970 yen.

オフィスアワー　Information about office hours and arranging meetings will be provided by the instructor on the first day of class.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

４回以上の欠席回数の場合は単位を与えられません。

ナンバリングコード　B2ENG-axxG-10-Ex1 授業科目名　　(時間割コード：041606) Academic EnglishⅡ(3) Academic EnglishⅡ Academic writing	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 後期月5	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2ENG	DP・提供部局 axxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 ｳｨﾘｰ･ｲｱﾝ･ﾃﾞﾋﾞｯﾄﾞ	関連授業科目　Academic English I (Not required)		
	履修推奨科目		

学習時間　90 min classes X 15 class meetings; 90~180 min out-of-class work per week

授業の概要

This course focuses on English academic writing, in particular timed-task essay writing, and basic academic writing skills. Students interested in studying abroad or taking the IELTS or TOEFL are recommended to join this class.

授業の目的

This course builds upon the academic English skills that students have gained in Communicative English I~IV, with a focus on productive writing skills.

到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
Through this course, students will become able to: 1. Write descriptive essays about charts, graphs, and figures in a timed situation (IELTS writing task 1); 2. Write opinion essays about social topics in a timed situation (IELTS writing task 2); 3. Use academic vocabulary appropriately; 4. Write in English without depending on a dictionary; 5. Communicate in English with others about their writing; 6. Correct their own errors using codes provided by the teacher.	

成績評価の方法と基準

Students' grades will be based on the following:
30%: Participation (in-class effort)
70%: Writing assignments (at least 10 assignments, done outside of class)

授業計画並びに授業及び学習の方法

Each class meeting will address an aspect of writing. Using the textbook, focus will fall on the IELTS Writing test (Tasks 1 & 2). Writing will be done in class and as homework. The last 30 minutes of class will typically be devoted to free writing, discussion, group work, or other communicative tasks. These tasks will often involve short videos, news reports, and songs.

(1) Introductions; In-class writing practice
(2) Begin Writing for IELTs textbook; About error codes
(3-15) Regular class activities

Suggestions for Self-study: Assignments will be explained in each class, and will include advice on how assignments can be completed efficiently.

教科書・参考書等

Writing for IELTS by Anneli Williams (2011). HarperCollins Publishers. ISBN: 978-0-00-742324-8. 2097 yen.

オフィスアワー　Information about office hours and arranging meetings will be provided by the instructor on the first day of class.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

４回以上の欠席回数の場合は単位を与えられません。